

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 社会教育事務					担当部署 生涯学習部 社会教育課 社会教育係				
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）									
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 O1 生涯学習					法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)				
	予算科目コード		款 10	項 04	目 01	細目 002	細々目 01			
	目的 <対象は誰、何か>									
	社会教育事業全般					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 社会教育事業の円滑かつ効率的な運営				
	実施内容 社会教育課事務経費（社会教育主事嘱託職員報酬等、青少年教育協力者感謝状記念品、事務用消耗品、「昭島の社会教育」冊子製本、社会教育委員会議等の通知郵送、社会教育課用軽自動車燃料・維持管理費などの支払い等、庶務的な事務を行う。					実績・成果 社会教育事業の適切・効率的な運営を図った。				
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		3,446	3,769	3,303	3,483	・雇用保険料 ・自動車損害共済災害 共済金			
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円	25	16	88	14				
		一般財源 千円	3,421	3,753	3,215	3,469				
	一般職員人件費 千円		3,320	3,320	3,320	3,320			・雇用保険料 ・自動車損害共済災害 共済金	
	人工数 人		0.40	0.40	0.40	0.40				
	再任用職員人件費 千円		3,280	2,460	2,460	2,460				
人工数 人		0.80	0.60	0.60	0.60					
総事業費 千円		10,046	9,549	9,083	9,263					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判斷理由 社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は1番目である。			判斷理由 昭島市生涯学習推進計画を推進するために、様々な社会教育事業の円滑かつ適切、効率的な運営を継続的に図るために引き続き直営で行うことが望ましい。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判斷理由 昭島市生涯学習推進計画を推進するために様々な社会教育事業を円滑かつ適切、効率的に行っていく。			判斷理由 再任用職員、嘱託職員、臨時職員を採用し、事務の効率化、健全化を図っている。また、事務経費の削減にも日々努力を重ねている。						
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)		E	現状における課題 今後も昭島市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習の推進のために行う社会教育事業が円滑に行われるよう努める。		平成25年度予算編成における具体的な取組 現状維持				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 社会教育委員事務				担当部署 部 生涯学習部 課 社会教育課 係 社会教育係					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				社会教育法、昭島市社会教育委員設置条例					
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務					
	個別計画（年度）		<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)							
	予算科目コード 款 10 項 04 目 01 細目 003 細々目 01		<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)							
	目的 <対象は誰、何か> 社会教育委員									
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 社会教育委員の活動及び会議の円滑な運営									
	実施内容 社会教育委員会議が毎月開催（1回2時間）され、それら会議の開催通知の送付や会議後の会議録の作成、関係資料の作成・配布、情報の提供や委員報酬の支払いなどの事務を行っている。 また、社会教育関係の研究大会への参加や東京都市町村社会教育委員連絡協議会に参加し、研修及び情報交換などを行うことにより、情報収集やその活用を行っている。									
事務事業概要	実績・成果		毎月1回開催される社会教育委員会議では、議長を中心として活発な意見が交わされ、平成23年度は「昭島市の家庭・学校・地域の現状について」をテーマとした建議の提出に向け、各委員が調査研究した内容を基に会議が進められ、今年度は『仮称「第2次昭島市生涯学習推進計画」策定に伴う基本的な考え方について』の諮問に対し答申も行った。また、他市の動向を常に把握するべく自主的に視察研修を行っている。							
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		1,183	1,329	1,281	1,290				
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	1,183	1,329	1,281	1,290				
	一般職員人件費 千円		1,660	1,660	1,660	1,660				
	人工数 人		0.20	0.20	0.20	0.20				
再任用職員人件費 千円		3,280	2,460	2,460	2,460					
人工数 人		0.80	0.60	0.60	0.60					
総事業費 千円		6,123	5,449	5,401	5,410					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3				
	判断理由		社会教育法第15条及び昭島市社会教育委員設置条例に基づき設置されている。		判断理由		社会教育法第15条及び昭島市社会教育委員設置条例に基づき設置されている。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3				
	判断理由		社会教育委員自身が調査研究を重ね、昭島市の社会教育行政に対し、有効な意見を述べている。		判断理由		月1回の会議も議長を中心にスムーズに進行し、毎回有意義な意見が交わされている。適宜自主研修などをを行い、必要とあらば委員が調査に赴き、有効かつ効率的に運営されている。			
	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		市民一人ひとりのニーズに応え、市民が自らの意思で選択し、自由に学ぶことができる環境の整備をするために、今後も社会教育委員自ら行動する会議の運営を継続していくことが重要である。		現状維持					

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 あすを創る運動事業				担当部署 部 生涯学習部 課 社会教育課 係 社会教育係			
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 O1 心ゆきかう あきしま（明るい地域社会の形成）							
	大項目 O1 人と人をつなぐ（コミュニティとネットワークの推進）							
	中項目 O1 コミュニティ				法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）		<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)					
	予算科目コード 款 10 項 04 目 01 細目 004 細々目 01		<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)					
	目的 <対象は誰、何か> 市民							
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民が日常生活の中で直面するさまざまな課題や地域活動を通して、学び、課題解決への実践をする。							
	実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>多摩川をきれいにする運動の実施</li> <li>街をきれいにする運動の推進</li> <li>資源を大切にする運動の実施</li> <li>『市民憲章』並びに『青少年とともにあゆむ都市宣言』の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>あすを創る運動実践協力者の表彰</li> <li>あすを創る運動関係研修会への参加</li> <li>昭島市民憲章看板の破損箇所の点検</li> </ul> </li> </ul>							
事務事業概要	実績・成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度の活動実績</li> <li>○多摩川一斉清掃 参加者2,465人 ゴミの量1.67トン</li> <li>○家庭用品バザー 提供物品数 4,501点 売上金643,050円 (一部を社会福祉協議会に寄付)</li> <li>○門松ステッカー 全戸配布</li> <li>○施設見学 環境コミュニケーションセンター、国立極地研究所南極・北極科学館、IHISらの未来館 参加者数22人</li> <li>○年7回の会議の実施</li> </ul>							
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>	
	直接事業費 千円		200	180	180	170		
	財源内訳	国庫支出金 千円						
		都支出金 千円						
		地方債 千円						
		その他特定財源 千円						
		一般財源 千円	200	180	180	170		
	一般職員人件費 千円		1,660	1,660	1,660	1,660		
	人工数 人		0.20	0.20	0.20	0.20		
再任用職員人件費 千円								
人工数 人								
総事業費 千円		1,860	1,840	1,840	1,830			
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3		
	判断理由		社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は10番目である。	判断理由		自治会連合会や赤十字奉仕団、地域の協力者で構成されている昭島のあすを創る協議会に委託し、市民との連携、協働の促進が図られている。		
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3		
	判断理由		昭島市と共に多摩川一斉清掃では花の種を配布し、多摩川をきれいにするとともに「花と緑にあふれるまちづくり」にも一役買っている。また、家庭用品バザーでは家庭に眠っている不用品を寄付していただき、資源の有効活用並びに福祉団体への寄付など、社会貢献を行っている。	判断理由		委託金の減額を2年連続で行い、自主運営を目指す。		
	課題と今後の方向性（以下より選択）		E	現状における課題 ○自主運営が望ましい。		平成25年度予算編成における具体的な取組 △委託金の削減 △20,000円		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持							

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署				
	社会教育関係団体指導育成事業				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塩野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市社会教育関係団体登録要綱、昭島市青少年教育協力者感謝状贈呈要綱、昭島市子ども会活動補助金交付要綱、昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱、昭島市昭和郷シニア大学補助金交付要綱				
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり
	予算科目コード		款	10	項	04	目	01	細目 005 細々目 01 <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	社会教育関係団体等				市民の自主的な社会教育活動を促進し、市の社会教育の発展を図る。				
	実施内容				実績・成果				
	社会教育関係団体等の指導者などを対象とした研修会の開催。社会教育関係団体等への補助金の交付。社会教育関係団体の登録、更新事務。				平成23年度は社会教育関係団体の指導者、子ども会のリーダーを対象とした研修会を開催し29名が参加した。また、子ども会連絡会へ3団体、単位子ども会は53団体、社会教育関係団体等へも6団体に補助金を交付し、各団体の活発な活動の一助となっている。				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		2,265	2,399	2,104	1,789			
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
その他特定財源 千円									
一般財源 千円		2,265	2,399	2,104	1,789				
一般職員人件費 千円		1,660	830	830	830				
人工数 人		0.20	0.10	0.10	0.10				
再任用職員人件費 千円									
人工数 人									
総事業費 千円		3,925	3,229	2,934	2,619				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3			
	判断理由		社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は6番目である。		判断理由				補助金の交付は民間やNPOに任せのではなく直営が妥当である。 研修会、社会教育関係団体の登録業務は民間委託も不可能ではない。
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由		社会教育関係団体等の指導者研修会への出席で得られる今後の活動へのヒントや、補助金の交付により、自主財源だけでは実現できない事業を展開している。 社会教育関係団体の登録制度は市民がサークル活動に参加したい時などの参考として活用されている。		判断理由				研修会を委託することは可能であるが、年間、1回から2回開催する研修会を委託することは、あまり効率的ではなく、現在の直営方式が妥当であると考える。 平成21年度より社会教育主事を嘱託職員とし、事務経費の効率化を図った。
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題				平成25年度予算編成における具体的な取組
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		○研修会に参加する指導者が少なく費用対効果が低い。		補助金の削減に努める。			
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し		○社会教育関係団体の活動内容や会員の年齢層が多岐にわたることから研修会の内容が絞りにくい。					
		C 抜本的な見直し		○補助金額を適切な金額に設定する必要がある。					
		D 縮小・廃止							
E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署				
	生涯学習推進事業				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塩野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目 O1 生涯学習								法令による事業実施義務
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)
	予算科目コード		款	10	項	04	目	01	細目 006 細々目 01 <input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)
事務事業概要	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	概ね50歳以上の中高年の市民				パソコンの操作に不慣れな中高年の市民に方に、日頃の生活の中で活用できるようなパソコンの操作を習得していただく。				
	実施内容				実績・成果				
	パソコンの基礎的な操作（文字入力やマウス操作など）ができる50歳以上の中高年を対象に、ワードの基礎的な機能を学習し、実際に地域の活動などで役に立つ技術を習得することで、中高年の地域生活をより充実したものにしていくことを目指す。				福島会館において、パソコンインストラクターの講師を招き、3日間実施し、延べ41名の参加があった。講習の内容は「ワードの基礎と応用」で、名刺とチラシの作成を行った。講習会終了後のアンケートは次のとおりであり、概ね満足されているようである。 • 内容 よくわかった 7名 大体わかった 6名 • 進め方 早かった 3名 ちょうどよかった 10名 ゆっくりだった 1名 • 講習会に期待していたことは得られたか 得られた 13名 得られなかった 0名 どちらとも言えない 2名				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		60	69	59	61	• 参加者負担金 • 高齢社会対策区市町村包括補助金		
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円	16	17	16	21			
		地方債 千円							
その他特定財源 千円		18	19	14	19				
一般財源 千円		26	33	29	21				
一般職員人件費 千円		830	830	830	830	• 参加者負担金 • 高齢社会対策区市町村包括補助金			
人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10				
再任用職員人件費 千円									
人工数 人									
総事業費 千円		890	899	889	891				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3			
	判断理由		社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は8番目である。		判断理由		講師はパソコンインストラクター（マイクロソフト・オフィシャル・トレーナー資格認定講師）の資格を持つ外部講師が指導し、受講者からは講師料の一部を受講料として徴収している。また、講師の補助としてボランティアにお手伝いいただいている。		
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由		講習終了後の受講者のアンケート結果からも、受講者が期待していたことは概ね達成されていて、満足していただいているようである。		判断理由		昨年に引き続き、講師の他にパソコンの知識に精通したボランティアに協力していただき受講者の指導にあたっている。		
	課題と今後の方向性		今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組		
					○年1回の開催なので、おおくの市民に参加していただくのは難しい。		現状維持		
					○講習会の回数を増やすと講師料が増加してしまうので難しい。				
			A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持						

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署				
	生涯学習情報センター運営事業				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塩野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市生涯学習協議会補助金交付要綱				
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)
	予算科目コード		款	10	項	04	目	01	細目 007 細々目 01 <input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)
事務事業概要	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	市民				地域のつながりとつくり、「生きがい」「友達づくり」を重視した誰もが参加できる生涯学習を推進する。				
	実施内容				実績・成果				
	小学校区に根ざした住民による生涯学習を推進するため、生涯学習校区協議会を設置し、必要な情報の提供や適切な運営ための指導や助言を行う。				平成15年度に設置したつ北小地区・いきいき楽習協議会を始め、平成22年度末現在では田中小校区生涯学習住民協議会、拝島第一小学校区地域協議会の3つの協議会が活動している。それぞれ特色のある事業を開催している。平成23年度の参加延べ人数はつ北小地区・いきいき楽習協議会が128名、田中小校区生涯学習住民協議会が1,253名、拝島第一小学校区地域協議会が182名となっている。				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費		千円	809	800	502	738		
	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都支出金	千円						
		地方債	千円						
その他特定財源		千円							
一般財源		千円	809	800	502	738			
一般職員人件費		千円	830	830	830	830			
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10			
再任用職員人件費		千円							
人工数		人							
総事業費		千円	1,639	1,630	1,332	1,568			
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3			
	判断理由		社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は4番目である。		地域の既存の団体と連携しながら、特色ある事業を開拓し、住民同士のつながりを育てている。田中小校区生涯学習住民協議会、拝島第一小学校区地域協議会とも2年間は委託事業とし、3年目から補助事業として、より、自主的な運営を支援している。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由		地域の様々な団体と連携し、生活環境、年齢など、普段の生活の中では交流することが少ない地域住民とも交流ができ、新たな活動が協議会としても、個人としても広がっていくことが期待される。小学校区ごとに特色ある事業を開拓し、多くの地域住民がの参加している。		地域住民を中心として、事業を開拓し、事業によっては受益者負担の観点から参加費も徴収している。				
	課題と今後の方向性		今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組	
			○新たな校区協議会の設置に至っていない。 ○地域により既存の団体との関係など、事情も異なることから設置に向けての調整が難しい。					補助金の削減に努める。	
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持								

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 成人式開催事業				担当部署 生涯学習部 社会教育課 社会教育係				
					部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塙野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市成人式実施要綱				
	大項目 O2 ともにあゆむ（青少年の育成）								
	中項目 O1 青少年の健全育成				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)						
	予算科目コード 款 10 項 04 目 01 細目 008 細々目 01		<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)						
事務事業概要	目的 <対象は誰、何か> 当該年度に20歳になる新成人								
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 人生の節目として新しい門出を祝福し、成人としての自覚を促し、昭島市民であることを再確認する。								
	実施内容 成人の日にフォレスト・イン昭和館 シルバンホールにおいて、式典及び茶話会を開催している。茶話会には中学校の恩師を招待し、現在の中学校の映像を会場で上映するなど、新成人の実行委員による柔軟な運営が行われている。				実績・成果 平成23年度の出席者は、対象者、男性583人、女性523人に對し男性454人、女性380人、合計834人となっている。出席率は男性77.87%、女性72.66%、合計75.41%と、多摩地区では高い出席率を誇っている。				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		2,225	2,300	2,274	2,240			
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他特定財源 千円							
		一般財源 千円	2,225	2,300	2,274	2,240			
一般職員人件費 千円		2,490	2,490	2,490	1,660				
人工数 人		0.30	0.30	0.30	0.20				
再任用職員人件費 千円									
人工数 人									
総事業費 千円		4,715	4,790	4,764	3,900				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3			
	判断理由		社会教育課に屬する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は5番目である。	判断理由		昭島の未来を託す新成人を祝福し、昭島市民であることを再確認し、その若い力をこれから昭島に還元していただけるよう、新成人が一堂に会する機会をつくることは妥当である。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）		5	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由		中学校卒業以降は友人同士顔を合わせることはあっても、学年全体、恩師などが一堂に会する機会は少ない。新成人として社会に羽ばたくこの時期に、子ども時代を振り返り、地元の良さを再確認し、自分を育ってくれた「あきしま」にこれから何が出来るか、考えていただくためには非常に有効であり、毎年高い出席率を誇っている。	判断理由		新成人による実行委員会形式の運営と、フォレスト・イン昭和館を利用することにより、従事する職員の削減と、高い出席率を実現している。			
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題				平成25年度予算編成における具体的な取組
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		○新成人を対象に実行委員会を発足しているが、実行委員の応募が少ない。広報やホームページ、市内施設へのポスターの掲示、対象者への案内はがきの送付などを行ったがなかなか効果が見られない。		現状維持			
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し							
		C 抜本的な見直し							
		D 縮小・廃止							
E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署				
	土曜地域ふれあい事業				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塙野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市生涯学習援助協力者活用要綱				
	大項目 O2 ともにあゆむ（青少年の育成）								
	中項目 O1 青少年の健全育成				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)
	予算科目コード		款	10	項	04	目	01	細目 009 細々目 01 <input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)
事務事業概要	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	小学生、中学生、ボランティア講師				子どもたちの居場所づくりと生涯学習の推進。楽しみながら異世代間や異年齢の子ども同士の交流による人間関係の形成。				
	実施内容				実績・成果				
	• 囲碁教室 小・中学生を対象に登録ボランティアである講師が、囲碁についての指導を行う • 陶芸教室 小・中学生を対象に登録ボランティアが陶芸の実技指導を行い陶芸作品を作る。 • 作陶展 市役所ロビーで、陶芸教室参加者の作品を展示				囲碁教室では最近、囲碁が見直されていることや、以前に受講した子どもが引き続き受講するなどして、多くの応募があった。 社会教育関係団体や地域の市民ボランティアによる講師は、子どもとのふれあいを通じていきいきとし、生きがいにもなっている。 • 囲碁教室 夏休みをのぞく6月から10月の第1.3.5土曜日 延べ参加者 小学生 354名 ボランティア講師 98名 • 陶芸教室 7月と10月のそれぞれ第2・4土曜日 延べ参加者 小学生19名 ボランティア講師 16名 • 作陶展 市役所ロビーで、指導にあたった講師の先生方の日頃からの作品と陶芸教室参加者の作品を展示				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		53	76	69	76	• 参加者負担金 • 子育て支援交付金 (23) • 次世代育成支援対策 交付金 (22)		
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円	33	31	26				
		地方債 千円							
その他特定財源 千円		13	13	10	13				
一般財源 千円		7	32	33	63				
一般職員人件費 千円		2,490	830	830	1,660	• 参加者負担金 • 子育て支援交付金 (23) • 次世代育成支援対策 交付金 (22)			
人工数 人		0.30	0.10	0.10	0.20				
再任用職員人件費 千円			820	820	410				
人工数 人			0.20	0.20	0.10				
総事業費 千円		2,543	1,726	1,719	2,146				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3	判断理由  社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は7番目である。		
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由  囲碁をすることにより集中力、創造力、豊かな発想、礼儀正しさ、勝ち負けによる喜び・悲しみ・葛藤が人格育成に必要な感情や心をコントロールする訓練となり、子どもたちを成長させた。 陶芸を通して、物づくりの体験、喜びをあじわうことができた。子ども同士異世代間の交流、地域住民と子どもの交流がはかれて、アンケートの結果も、楽しかったので又してみたいとの回答が多くあった。		判断理由  囲碁教室も陶芸教室も講師はボランティアで運営しており、地域住民の技能や技術を生かす場として、実施している。 参加費も保険料程度となっている。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由  囲碁をすることにより集中力、創造力、豊かな発想、礼儀正しさ、勝ち負けによる喜び・悲しみ・葛藤が人格育成に必要な感情や心をコントロールする訓練となり、子どもたちを成長させた。 陶芸を通して、物づくりの体験、喜びをあじわうことができた。子ども同士異世代間の交流、地域住民と子どもの交流がはかれて、アンケートの結果も、楽しかったので又してみたいとの回答が多くあった。		判断理由  囲碁教室は、囲碁板なども徐々に揃えてきているため、経費は資料代程度でまことにあうことができた。陶芸教室は、器具については既に整っており、釉薬・色絵の具などの材料は、不足分を補うことで足りた。また、どちらも講師はボランティアでお願いしているため、謝礼はほとんどかからない状況となり、適切な運営ができた。						
	課題と今後の方向性	今後の方針性(以下より選択)	E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組			
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持	○ボランティア講師も高齢化しているため、新たな講師の獲得が必要。		現状維持				

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 文化振興事業				担当部署 生涯学習部 社会教育課 文化財担当				片岡 国幹 上野 渉 内線2259				
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目		O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）						あきしま昭和の森「郷土芸能まつり」事業補助金交付要綱				
	大項目		O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）										
	中項目		O3 文化・芸術						法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）								<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり				
	予算科目コード		款	10	項	04	目	O1	細目	O11	細々目	O1	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
	目的 <対象は誰、何か> 昭和の森芸術文化振興会、近隣市町村郷土芸能団体												
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 永年培われてきた郷土の伝統芸能を様々な方に見てもらうとともに、団体相互の技術交流及び活動成果発表の場として開催する主催団体に対し事業費補助を行う。												
	実施内容 昭和の森芸術文化振興会が主催し、市内外の郷土芸能団体が一堂に介して開催される「あきしま昭和の森郷土芸能まつり」への事業費補助の交付。												
実績・成果 市内外郷土芸能団体が20団体ほど参加。平成20年度から行われているが、例年2万人程度の来場者数があった。 平成23年度は東日本大震災のため中止となった。													
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費		千円	2,500	2,500	0	0						
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他特定財源	千円										
		一般財源	千円	2,500	2,500	0	0						
	一般職員人件費		千円	830	830	830	0						
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.00						
	再任用職員人件費		千円										
人工数		人											
総事業費		千円	3,330	3,330	830	0							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			2					
	判断理由			事業費補助に係る事務のみであり、課内の事業としては優先度は低い			判断理由	主催はあきしま昭和の森芸術文化振興会、運営はあきしま昭和の森郷土芸能まつり実行委員会で行っている。補助金の交付は運営する実行委員会に対し行っている。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3					
	判断理由			平成20年度から開催され、例年概ね2万人の来場者があったが、平成23年度は東日本大震災のため中止した。			判断理由	補助金交付額は、要綱より定められいるため額の変更はない。					
	課題と今後の方向性		今後の方針性 (以下より選択)	A	現状における課題 平成23年2月に昭島観光まちづくり協会が発足し、平成24年度より事業の主催が移行されたことに伴い担当課も移行した。			平成25年度予算編成における具体的な取組 平成24年度よりあきしま郷土芸能まつりが昭島観光まちづくり協会主催に移行したことについて、担当課も所管する市民部産業活性化室へ予算を移行した。					
			A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持										

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 文化財保護審議会事務					担当部署 生涯学習部 社会教育課 文化財担当				片岡 国幹 上野 渉 内線2259
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）					文化財保護法、昭島市文化財保護審議会条例、昭島市文化財保護審議会会議規則				
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 05 文化財					法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）					<input checked="" type="checkbox"/> 義務(□市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(□都補助等あり)				
	予算科目コード 款 10 項 04 目 03 細目 001 細々目 01									
	目的 <対象は誰、何か> 文化財保護審議会									
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 文化財の保護・保存及び活用に関する必要事項の調査・審議を行う。									
	実施内容 事務局（社会教育課文化財担当）で文化財の指定・解除等の諮問及び文化財行政の運営等に関する議案を作成、会長名で会議を招集、事務局の提案で審議をし、答申及び文化財行政に関する指導・助言を行なう。委員9人、報酬月額11,000円									
事務事業概要	実績・成果 文化財の保存及び活用に関する必要事項を調査審議するため設置された附属機関であり、現在でも設置目的に変化はない。今まで、教育委員会の諮問により市指定文化財24件の指定及び都指定文化財10件の指定に意見書並びにアキシマクジラ化石の年代の変更したことなど実績は顕著なものとなっている。また、平成14年には郷土資料室開設に伴い展示物の選定やレイアウト等の検討にも尽力いただいた。									
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		1,188	1,213	1,188	1,213				
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	1,188	1,213	1,188	1,213				
	一般職員人件費 千円		1,660	1,660	1,660	1,660				
	再任用職員人件費	人工数 人	0.20	0.20	0.20	0.20				
人工数 人										
総事業費 千円		2,848	2,873	2,848	2,873					
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか） 3			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3						
	判断理由	条例で定められているため			判断理由	様々な分野の専門的知識を持つ方々で構成され、年6回審議会を開催。市の責務となる文化財の保護・保存及び活用を行う上で、市より議題等の提案をし、審議を行い指導・助言をいただいている。				
	判断理由	③達成度（成果はどの程度あるか） 3			判断理由	④効率性（効率的に実施できたか） 3				
		教育委員会の諮問により市指定文化財24件の指定及び都指定文化財10件の指定に意見書並びにアキシマクジラ化石の年代の変更したことなど実績は顕著なものとなっている。								
	⑤課題と今後の方向性		今後の方針性（以下より選択） E		現状における課題 専門的知識を持つ方々で構成された審議会のため、退任等があった場合に後任の方を選定することが非常に難しい。			平成25年度予算編成における具体的な取組 現状維持		
	課題と今後の方向性	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し								
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し								
	C 抜本的な見直し									
	D 縮小・廃止									
E 現状を維持										

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 文化財保護事業				担当部署 生涯学習部 社会教育課 文化財担当				片岡 国幹 上野 渉 内線2259		
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>		
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）						文化財保護法、昭島市文化財保護条例、昭島市文化財保護条例施行規則、昭島市文化財保存事業費補助金交付要綱		
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目	05	文化財						法令による事業実施義務		
	個別計画（年度）								<input checked="" type="checkbox"/> 義務(□市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(□都補助等あり)		
	予算科目コード	款	10	項	04	目	03	細目	002	細々目	01
	目的	<対象は誰、何か> 市内外の方、文化財の所有者及び管理者				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 文化財の保護・保存するとともに多くの方々へ公開することにより文化財保護思想の普及・高揚を図る。					
	実施内容					実績・成果					
	事務事業概要	文化財めぐりを開催し、郷土の歴史に触れてもらい文化財の保護・保存の重要性について啓発するとともに、シニア世代の力を活用して、文化財ボランティアガイドの養成を行う。また、指定文化財の保護・保存を行うため修理に係る事業補助及び後継者育成に係る補助を行う。				文化財めぐり 第1回 雨天中止 第2回 11月20日（拝島コース）参加者26名 市指定有形民俗文化財「奈賀町屋台」修理工事 文化財ボランティアガイド養成講座 9月3日～12月17日（第1・3土曜日） 机上講座 1月21日 郷土資料室展示解説講座 2月4日～3月17日（第1・3土曜日） 史跡めぐり講座 3月17日は雨天中止					
コスト	(単位)	22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>					
直接事業費	千円	8,586	8,720	8,684	722	市町村総合交付金 各種講習会受講料 各種印刷物頒布代金					
財源内訳	国庫支出金	千円									
	都支出金	千円	4,000	4,000	3,995						
	地方債	千円									
	その他特定財源	千円	149	225	136		225				
	一般財源	千円	4,437	4,495	4,553		497				
一般職員人件費	千円	2,490	2,490	2,490	2,490						
人工数	人	0.30	0.30	0.30	0.30						
再任用職員人件費	千円				1,640						
人工数	人				0.40						
総事業費	千円	11,076	11,210	11,174	4,852						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
①優先度（どの程度優先されるべきか）	3			②妥当性（実施方法は妥当であるか）	4						
判断理由	条例で定められているため			判断理由	市指定有形民俗文化財「奈賀町屋台」の修理や市無形民俗文化財「拝島日吉神社祭礼囃子」「福島ばやし」の後継者育成等は市内に古くから遺るものであり、市と文化財所有者及び管理者が連携し後世に伝えていく必要がある。また、文化財の保護・保存だけでなく、公開等の活用することで意識高揚及び啓発を図ることから適切だと考える。						
③達成度（成果はどの程度あるか）	3			④効率性（効率的に実施できたか）	3						
判断理由	文化財めぐり等の教室開催時には、参加希望者も多くニーズは高い。郷土の歴史に触れることで、個人の自主学習を始める「きっかけ」をつくる一役を担っている。また、現在養成中の文化財ボランティアガイドについても、今後、市民が市民に対し郷土の歴史を啓発するという形が生まれる。			判断理由	文化財めぐりは、中高年層の参加者が多いため時間、距離を考慮したコース設定に変更したことにより、参加者が増加してきている。 また、講師も文化財保護審議会の委員の方々に依頼し開催しているため講師謝礼も抑えられた額となっている。						
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	B	現状における課題	平成25年度予算編成における具体的な取組 新たなボランティアガイド養成や文化財めぐり等でこれまでに養成したボランティアガイドの活用。							
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		指定文化財も歴史のあるものそのため、破損等の状況が今後増加すると思われる。また、文化財めぐりについては、解説を現在養成しているボランティアガイドの活用するため、講座内容等を検討していくかなくてはならない。								

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署			
	埋蔵文化財発掘調査事業				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹
					課	社会教育課	担当	上野 渉
					係	文化財担当	電話	内線2259
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				文化財保護法、昭島市文化財保護条例、昭島市文化財保護条例施行規則			
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
	中項目 05 文化財				法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）				<input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり			
	予算科目コード 款 10 項 04 目 03 細目 003 細々目 01							
事務事業概要	目的							
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>			
	市内遺跡包蔵地内の開発事業				埋蔵文化財は国民共有の貴重な歴史財産であり将来の文化向上・発展の基礎をなすものと位置付け、開発行為による遺跡の破壊から埋蔵文化財を保護し後世に伝えるため記録保存等する。			
	実施内容				実績・成果			
	開発事業者から発掘届を受理し、都へ進達する。事業者等と発掘日程を調整し、調査指導員の指導の下に、作業員、重機業者とともに試掘調査を実施する。重要な遺跡等が発見された場合は、事業者負担で本調査を実施（調査団を結成するが、事務局は教育委員会又は発掘調査専門業者を紹介）し、報告書を作成する。国・都の補助金事務もある。				高度経済成長期に入り、乱開発による埋蔵文化財の破壊が顕著になる中で、開発から埋蔵文化財を保護するために実施された事業で、現在も状況に変化はない。昭和59年度からは国・都の補助金対象事業として本市でも実施している。現在でもその重要性は変わらない。これまでの発掘調査の実施により林ノ上遺跡（拝島式土器発掘跡）や浄土古墳、上川原遺跡から出土した土器、経塚下遺跡や大神古墳からの出土物が市の指定文化財となっている。また、包蔵地外の場所から出土した獸脚付有蓋短頸壺 付・石櫃他一括については、全国的にも数例しかなく都の指定文化財となっている。			
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>	
	直接事業費		千円	795	1,073	535	6,475	埋蔵文化財発掘調査補助金（国・都）緊急雇用創出事業臨時特例補助金雇用保険料
	財源内訳	国庫支出金	千円	397	500	267	500	
		都支出金	千円	198	250	133	5,654	
		地方債	千円					
その他特定財源		千円				16		
一般財源		千円	200	323	135	305		
一般職員人件費		千円	1,660	1,660	1,660	2,490		
人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.30	国及び都の補助事業であり、事務処理は事務局（社会教育課文化財担当）で行っている。	
再任用職員人件費		千円						
人工数		人						
総事業費		千円	2,455	2,733	2,195	8,965		
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3
	条例で定められているため				文化財保護審議会長を埋蔵文化財発掘調査指導員に委嘱して行っている。また、発掘調査作業については、シルバー人材センターとの間で発掘調査補助作業委託を締結し、また、市内業者と発掘調査に使用する重機の借上に係る契約を締結し実施している。			
	判断理由				由國及び都の補助事業であり、事務処理は事務局（社会教育課文化財担当）で行っている。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			3
都や市の指定文化財になる遺跡、発掘出土物など貴重なものが多い。開発事業で失われつつある中で、調査を行い記録を残し、その地域の歴史解明の材料となる。				発掘調査補助員として臨時職員を雇用していた経過があり、平成14年度に2名雇用から1名雇用に削減、平成23年度には臨時職員の経費を削減した。指導員謝礼も発掘調査（確認・試掘調査）時のみに支出しており、他の調査方法（立会調査）には支出していない。				
判断理由				同じ日に立会調査が重なると、職員は専門職ではないので立会いはできず、指導員の先生1人で現場を回るようになる。				
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持			開発行為に対しては、発掘調査以外にも立会いという方法があるが、本市には専門職（学芸員）がいないため、職員による立会いができない。専門職（学芸員）又は嘱託の専門職員の配置がなければ、こうした方法が取れるほか、年度ごとの調査報告書の刊行ができる。又、専門職（学芸員）の配置については文化財保護審議会から指摘を受けているところです。		現状維持		

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市史料調査事業				担当部署 生涯学習部 社会教育課 文化財担当				片岡 国幹 上野 渉 内線2259										
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>										
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）					文化財保護法、昭島市文化財保護条例、昭島市文化財保護条例施行規則											
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）																
	中項目	05	文化財					法令による事業実施義務											
	個別計画（年度）								<input checked="" type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)										
	予算科目コード		款	10	項	04	目	03	細目	004	細々目	01	<input type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)						
	目的 <対象は誰、何か> 市民から寄贈された生活用具、農具などの民具																		
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 民具等の受け入れにより、貴重な文化財を収蔵及び保存し、公開等の活用を行う。																		
	実施内容 寄贈申入れにより、訪問等による回収作業をする。品目リストを作成する。撮影、採寸等のデータを調査カードに記録して整理する。用途や歴史などについて調査し、収蔵保存する。これまで調査指導員（1名）及び調査整理補助作業員（2名）により、拝島第四小学校内の空教室を利用し調査整理に当っていたが、現在は調査整理補助作業員2名で調査・整理を行っている。寄贈された民具は昭和中学校木造校舎、拝島第四小学校校舎・田中小学校校舎に収蔵し保管している。																		
事務事業概要	実績・成果				民具類の収集については、寄贈の申入れがあって成立するものであり、その年によって数字は変動する。  収集点数 平成23年度末現在の収集点数 23,588点 整理点数 平成23年度末現在の整理点数 23,157点														
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>												
	直接事業費		千円	614	2,224	1,977	457	緊急雇用創出事業臨時特例補助金											
	財源内訳	国庫支出金	千円																
		都支出金	千円		1,640	1,570													
		地方債	千円																
		その他特定財源	千円	41															
		一般財源	千円	573	584	407	457												
	一般職員人件費		千円	830	830	830	830												
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10												
再任用職員人件費		千円				1,640													
人工数		人				0.40													
総事業費		千円	1,444	3,054	2,807	2,927													
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による																		
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				3									
	条例で定められているため				平成20年度まで民具調査指導員がいたが、現在は調査整理補助作業員（2名）で整理作業等を行っている。 受け入れを行う場合に、調査指導員が退任前に作成した基準に基づいて行うが、収蔵スペース等の問題もあり苦慮している。														
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3									
	平成22年度末の収集状況が約23,000点あり、種類も多種多様のものがあるが、生活用具や農具、また、昭和初期まで盛んに行われていた養蚕に関するものが多く寄贈いただいている。				民具の受け入れが行われると、調査整理補助作業員により品目リストや調査カードの作成が行われているが、年間勤務日数は35日しかないため、寄贈された民具自体の整理に時間がかかる。また、通常作業は拝島第四小学校内にある民具室で行っているが、受け入れる民具の規格によっては、搬入場所が変わるために事務的効率は多少下がる。														
	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題				平成25年度予算編成における具体的な取組											
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		民具調査指導員が不在のため、寄贈民具の受け入れ判断に苦慮することが多い。収蔵も分散して保管しているがほぼ空きスペースの無い状況になってきている。今後も継続して民具類の収集・整理を行うには指導員の配置と分散して保管されている民具を1ヶ所にまとめら、かつ、今後更に受け入れる民具類を収蔵するためのスペース（収蔵室）が必要。				現状維持												
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し																		
	C 抜本的な見直し																		
	D 縮小・廃止																		
E 現状を維持																			

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 郷土資料室管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 社会教育課 係 文化財担当				片岡 国幹 上野 渉 内線2259					
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目		03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）											
	大項目		03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）											
	中項目		05 文化財						法令による事業実施義務					
	個別計画（年度）								<input type="checkbox"/> 義務	<input type="checkbox"/> 市上乗せあり				
	予算科目コード		款	10	項	04	目	03	細目	005	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意	<input type="checkbox"/> 都補助等あり
	目的 <対象は誰、何か> 市民、近隣市の方々等													
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> これまでに寄贈を受けた民具類や市内で出土した土器類などを広く一般に公開し、その活用を図るとともに、文化財保護思想の高揚・普及に努める。													
	実施内容													
実績・成果 施設は、昭島市昭和町分室（総務部契約管財課所管）の2階の一角を使用している。展示内容は、市文化財保護審議会委員会等の指導により実施している。週3日（水、土、日曜日）開室しているが、その管理業務についてはシルバー人材センターに委託して行っている。また、8月には10日間特別開室として、曜日・時間を変更して開室している。														
事務事業概要	コスト 直接事業費		(単位) 千円	22決算 538	23当初予算 570	23決算 570	24当初予算 542	備考<特財名称等>						
	財源内訳	国庫支出金	千円											
		都支出金	千円											
		地方債	千円											
		その他特定財源	千円											
		一般財源		千円	538	570	570	542						
	一般職員人件費		千円	830	830	830	830							
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10							
	再任用職員人件費		千円											
	人工数		人											
総事業費		千円	1,368	1,400	1,400	1,372								
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による													
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）				2				
	判断理由				文化財は保護・保存するだけではなく、活用することが重要であり、土器類や民具類の展示により市域において人の営みがあったことが知ることができる。 また、例年市内小学校数校が社会科の授業の一環で見学に訪れる、見る・触れるなどの貴重な体験ができる場となっている。				現状は、運営管理を委託して開設している。通常開室が週3日、特別開室が夏季休業期間中10日間開室しているが、開室日以外に市内小学校数校が訪れるため、その場合には市担当者が対応している。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）				3	④効率性（効率的に実施できたか）				3				
	判断理由				平成13年度の開設以来、約7600人の入場者数があり年間平均としては約700名程度。市民に限らず市外からの来場者もあるが、施設が2階にあるため足が悪いので見学に行けないなどの声もある。また、市内の小学校等の団体見学も年々わずかではあるが、増えてきている。				現況の郷土資料室には、常設展示以外の展示を行うスペースは無いため企画展等の開催ができない。また、民具類の保管場所がなく、分散して保管しているため展示品の入れ替えが難しい。					
	課題と今後の方向性		今後の方針性 (以下より選択)	B	現状における課題 管理運営を委託により行っているが、現在養成を行っている文化財ボランティアガイドの活用について検討を行う必要がある。				平成25年度予算編成における具体的な取組 文化財ボランティアガイドの活用					
			A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持											

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市立会館管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 社会教育課 係 社会教育係					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市立会館条例、昭島市立会館条例施行規則、昭島市公共施設予約システムの利用登録に関する規則					
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務					
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり	
	予算科目コード		款 10 項 04 目 04 細目 001 細々目 01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり						
	目的 <対象は誰、何か> 市民、団体 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 誰もが気軽に利用できる市立会館を提供することにより、市民の自主的なグループやサークル、団体の活動を推進し、交流を深め、生涯学習の充実を図る。									
	実施内容 市民の生活に根ざした自主的、自発的な学習、文化、レクリエーションの機会と活動の場を提供することを目的として、各会館によって違いはあるが、集会室、休養室、学習室、音楽室、保育室、多目的室が設置されており、会合や趣味、軽スポーツ、調理実習、音楽活動、パソコン講習、個人の読書などに利用されているほか、情報コーナーとして設置された掲示板や雑誌架に置かれた行政資料や市民の活動のパンフレットの利用により市民生活に必要な資料や情報の交換ができる場となっている。									
	実績・成果 23年度は、11会館合計で、27,747団体、313,011人に、趣味や学習の場として利用されている。									
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	103,218	103,953	101,973	108,275	府内等光熱水費、複写機利用料、電話料、雇用保険料 ・特定防衛施設周辺整備調整交付金 ・社会資本整備総合交付金		
	財源内訳	国庫支出金	千円			1,415	2,217			
		都支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他特定財源	千円	362	378	393	406			
	一般職員人件費		千円	102,856	103,575	100,165	105,652			
	人工数		人	2.50	3.50	3.50	3.40	会		
	再任用職員人件費		千円				410			
	人工数		人				0.10			
総事業費		千円	123,968	133,003	131,023	136,905				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			1		
	判断理由			社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は3番目である。			会館の運営については、武蔵野会館のみが武蔵野会館運営協議会で運営している。今後は、他の10館も地域で運営することを検討していくべきであると考える。また、受益者負担については、有料とすることも検討すべきである。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由			23年度は11会館合計で27,747団体、313,011人に趣味や学習の場として利用された。			会館の職員は再任用職員または再雇用職員を配置し、夜間は一般選考の管理員を配置し人件費を抑制している。			
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組			
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		○受益者負担の観点から有料化とすることが望ましいが、無料化維持を要望する声が多い。		現状維持				
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し		○地域住民による運営も組織づくりも容易ではない。						
		C 抜本的な見直し								
		D 縮小・廃止								
E 現状を維持										

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署				
	野外活動施設管理				部	生涯学習部	課長	片岡 国幹	
					課	社会教育課	担当	塙野 淑美	
					係	社会教育係	電話	内線2259	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市富士見高原野外活動施設運営要綱、昭島市北秋川山の家運営要綱				
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								
	中項目 O4 スポーツ・レクリエーション				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画（22～26年度）、昭島市生涯学習推進計画（15年3月～）						<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり
	予算科目コード		款	10	項	04	目	04	細目 003 細々目 01 <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり
事務事業概要	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>				
	市内の青少年団体及び社会教育関係団体等				市内の青少年団体及び社会教育関係団体等が野外活動を通して生活体験し、集団生活による仲間との交流により、青少年等の健全な育成を図る。				
	実施内容				実績・成果				
	・富士見高原キャンプ場 ・北秋川山の家 市内の青少年団体及び社会教育関係団体等の団体が、野外活動を通じて自然に接し、また集団生活を通して仲間づくりや交流を深める。				富士見高原キャンプ場では、6団体147人、北秋川山の家では、10団体276人、合計16団体423人の市内の青少年団体及び社会教育関係団体等が利用した。 自然環境の中で生活経験、環境学習を体験したことにより、青少年の健全な育成ができ、生涯学習の推進となった。				
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		1,497	1,967	1,560	1,887			
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
その他特定財源 千円									
一般財源 千円		1,497	1,967	1,560	1,887				
一般職員人件費 千円		1,660	830	830	830				
人工数 人		0.20	0.10	0.10	0.10				
再任用職員人件費 千円			820	820					
人工数 人			0.20	0.20					
総事業費 千円		3,157	3,617	3,210	2,717				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）		2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3			
	判断理由		社会教育課に属する任意の11事業のうち、当該事業の優先度は9番目である。		判断理由		北秋川山の家は夏場のみの利用のため、奥秋川振興会と宿泊数に応じた賃貸借の契約とし、有効利用をしている。 富士見高原キャンプ場も期間中について、施設管理・点検等を委託し省力化をしている。		
	③達成度（成果はどの程度あるか）		4	④効率性（効率的に実施できたか）		3			
	判断理由		ストレスの多い現代社会に生活していると、大自然とのふれ合いによって心身ともにリラックスすることは大切である。障がいのある青少年の団体・スカウト活動・リーダー講習会では、毎年利用するようになってきた。 キャンプ用具の貸出しき、昭和会館にて行なっているので、青少年団体や社会教育関係団体の野外活動に利用している。		判断理由		利用者は施設利用が無料であり、キャンプに必要なテント・毛布・調理器具などは用意できている。 管理委託により、施設の開設・閉設・点検などの業務が適切に行なわれている。		
	課題と今後の方向性（以下より選択）		E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し		○夏期のみの利用であり、利用希望者が土日に集中することから、利用者の増加はあまり見込めない。		現状維持				
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し		○富士見高原野外活動施設は、キャンプ場、管理棟、宿泊等、トイレ、シャワールームがあり、管理棟、宿泊棟は、平成8年の建築で、今後建物の修繕など維持管理の費用の増が見込まれる。						
	C 抜本的な見直し		○野外活動施設の維持管理など全般的な運営の見直しの必要がある。						
	D 縮小・廃止								
E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 格技道場管理				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 青木昇一 544-4152	
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>	
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法	
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務	
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」								<input type="checkbox"/> 義務( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)	
	予算科目コード 款 10 項 04 目 04 細目 002 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 社会教育関係団体 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> スポーツ・レクリエーションの振興を図る									
	実施内容 格技道場（畳92畳敷）を社会教育関係団体を対象に、柔道・空手・軽体操などの場として貸し出しをしている。 実績・成果 利用団体数：6団体 利用回数：423回 利用者総数：5,850人									
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
		直接事業費 千円		5,777	7,333	7,173	5,824	緊急雇用創出事業臨時特例補助金		
財源内訳		国庫支出金 千円								
		都支出金 千円		1,500	1,433					
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	5,777	5,833	5,740	5,824				
一般職員人件費 千円		830	830	830	830					
人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10					
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0					
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00					
総事業費 千円		6,607	8,163	8,003	6,654					
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか） 2			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3						
	判断理由 柔道、合気道練習生・愛好家にとって、一般で武道場を使用できる施設は少ないため、必要性は高い。			判断理由 大規模改修等ができない状況の中では、大幅な利用拡大を図ることは困難であり、貸出対象の範囲を定めて実施している。						
事務事業評価	③達成度（成果はどの程度あるか） 3			④効率性（効率的に実施できたか） 3						
	判断理由 総合スポーツセンター柔道場・剣道場は他種目での利用もあることから、柔道協会・空手道協会の活動拠点として格技道場が利用されている。			判断理由 昭和49年に開設された道場で老朽化も進んでいますが、一定の維持管理コストで適切な対応を図っている。23年度は緊急雇用事業で樹木剪定を行った。ほぼ毎日使用がある状況である。						
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題 都市計画道路予定地であるため、老朽化に伴う大規模改修ができず、利用の拡大が困難な状況である。毎年、国への敷地借上げ料が発生している。			平成25年度予算編成における具体的な取組 決算状況等を踏まえ、事業費の見直しや削減を検討する。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 保健体育事務				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152			
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法			
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)			
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 002 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	目的 <対象は誰、何か> 市のスポーツ振興に係る事務 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民が健康で明るい生活を営めるよう、保健体育事務を円滑に行う。											
	実施内容 職員被服貸与、事務用品購入、事業の傷害保険加入等の事務処理 実績・成果 課長1、係長1、職員4、再任用職員（週31時間）1、再任用職員（2週で38時間45分）2。											
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>				
		直接事業費 千円		935	768	721	728	市民総合賠償補償保険金				
財源内訳		国庫支出金 千円										
		都支出金 千円										
		地方債 千円										
		その他特定財源 千円	79		135	150						
		一般財源 千円	856	768	586	578						
一般職員人件費 千円		6,640	6,640	6,640	6,640							
人工数 人		0.80	0.80	0.80	0.80							
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0							
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00							
総事業費 千円		7,575	7,408	7,361	7,368							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由	市民が健康で明るい生活が営めるよう、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供と場の整備を図るために必要。			スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供と場の整備に係る事務処理等は、一元的に行なうことが有効であると判断する。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3				
判断理由	円滑に事業が実施できている。			事務経費については、前例にとらわれず常にコスト意識をもち事務執行にあたっている。								
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）	E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組							
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		小中学生や社会人を対象とした事業、会議のため、夜間や土日の時間外勤務が多い状況にある。		決算状況等を踏まえ、事業費の見直しや削減を検討する。							

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 体育指導委員事務				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 青木昇一 544-4152			
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								スポーツ振興法			
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								昭島市体育指導委員に関する規則			
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務			
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)			
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 003 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	目的 <対象は誰、何か> 体育指導委員（スポーツ推進委員）											
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 体育指導委員（スポーツ推進委員）活動を円滑に進める。											
	実施内容 体育指導委員（スポーツ推進委員）の報酬、旅費、貸与品、スポーツ安全保険加入等の事務処理及び活動支援											
事務事業概要	実績・成果 体育指導委員（スポーツ推進委員）は、市や地域主催のスポーツ行事等に協力し、市民のスポーツ振興に寄与している。（委員 18人）											
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>					
	直接事業費 千円		2,800	3,422	3,373	3,012	各種講習会受講料					
	財源内訳	国庫支出金 千円										
		都支出金 千円										
		地方債 千円										
		その他特定財源 千円	7	10								
		一般財源 千円	2,800	3,412	3,373	3,012						
	一般職員人件費 千円		6,640	6,640	6,640	6,640						
	人工数 人		0.80	0.80	0.80	0.80						
再任用職員人件費 千円		0 -		0	0							
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00							
総事業費 千円		9,440	10,062	10,013	9,652							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由	スポーツ振興法第19条の規定に基づき教育委員会が委嘱する体育指導委員の活動を支援する必要がある。			判断理由	国や東京都、各区市町村等からの情報処理や、委員の活動経費の支出などの事務処理は、現在の「主管課における一元処理」が有効であると判断する。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）	4	④効率性（効率的に実施できたか）			3						
判断理由	円滑に事業等が実施できている。平成23年度は発足50年を迎えた。			判断理由	スポーツ推進委員定例会を毎月開催し、そのなかで情報の共有を図っている。また、上部団体等が開く研修会にも積極的に参加し、技術の向上に努めている。							
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）	E	現状における課題 平成23年8月、スポーツ振興法がスポーツ基本法に改正となり、体育指導委員の名称もスポーツ推進委員に改称された。引き続き、スポーツ推進委員（体育指導委員）が十分な力を発揮できる環境を整えていく。			平成25年度予算編成における具体的な取組 スポーツ推進委員の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持											

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民健康づくり歩け歩け運動事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152	
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>	
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								スポーツ振興法	
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務	
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)	
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 004 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 市内在住・在勤者とその家族・友人 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 健康づくりにおける歩くことの重要さを確認し、家族・友人と一緒に歩く野外活動の楽しさを味わう。									
	実施内容 年2回の市民健康づくり歩け歩け運動の実施及び定められた距離を踏破した者の認定・記録表彰。									
	実績・成果 年2回の市民健康づくり歩け歩け運動が実施され、自然に親しみながら歩くことにより、市民の交流及び健康づくりが図られた。 第116回（5月15日）16km 参加者77人 第117回（11月6日）20km 参加者30人 (表彰) 50km—5人 100km—2人 300km—1人									
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		402	447	352	447				
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	402	447	352	447				
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830				
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10				
	再任用職員人件費 千円		0	0	0	0				
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00					
総事業費 千円		1,232	1,277	1,182	1,277					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	日常生活で歩くことが少なくなってきた。健康づくりにおける歩くことの重要さを確認してもらう。			判断理由	体育指導委員（スポーツ推進委員）が指導員となって開催。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	定められた距離を踏破したことによる認定及び記録表彰を行うことにより参加意欲が高められる。			判断理由	23年度は生憎雨模様となり、参加者が少なかったが年2回の事業を楽しみにしている市民は多い。一定の距離を歩くことによって表彰されることで市民の健康づくり、体力づくりの場となっている。				
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）	E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組				
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		ウォーキングを主な活動としている団体等への委託の可能性を追求するとともに、受益者負担（参加費）導入の可能性についても検討する必要がある。		決算状況等も踏まえ、歩け歩け運動の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。				

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				
	第5次総合基本計画における位置付け				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152				
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				実施根拠<法令、要綱等>				
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法				
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				<input type="checkbox"/> 義務( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)				
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 005 細々目 01				<input checked="" type="checkbox"/> 任意( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)				
	目的 <対象は誰、何か> 市民								
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、体力及び健康増進への意識の高揚を図る。								
	実施内容 毎年体育の日に、だれもが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動として、体育協会・ゲートボール協会・レクリエーション研究会等の協力を得てスポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施。 会場は昭和公園屋外運動施設（野球場・陸上競技場・テニスコート）及び総合スポーツセンター。								
事務事業概要	実績・成果 体育の日（10月10日）に昭和公園屋外運動施設（野球場・陸上競技場・テニスコート）及び総合スポーツセンターにおいて「市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2011」を開催。 屋外メニュー16種、屋内メニュー21種。 参加人数（延べ）2,890人。 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康づくりと交流が図られた。								
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		24	30	29	1,203			
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他特定財源 千円							
		一般財源 千円	24	30	29	1,203			
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830			
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10			
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0				
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00				
総事業費 千円		854	860	859	2,033				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか） 3			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3					
	判断理由	スポーツ・レクリエーションに、だれもが気軽に参加でき、親しむきっかけづくりが必要。			判断理由	体育協会と共に催形式をとり、スポーツ・レクリエーションを気軽に体験等できる「まつり」を重視したイベントとなっている。			
	③達成度（成果はどの程度あるか） 4			④効率性（効率的に実施できたか） 3					
	判断理由	毎年「体育の日」に実施することにより、フェスティバルの開催が市民に定着してきており、多くの方に楽しんでいただいている。			判断理由	体育協会・ゲートボール協会・レクリエーション研究会等がボランティアで協力。また、一部の経費は体育協会が負担。			
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択） A		現状における課題 新たな種目の導入も視野に入れたメニューを検討。			平成25年度予算編成における具体的な取組 23年度はツリー・イング、24年はミニサッカー教室等新たに種目を増やしたが、25年度以降も新たな種目の導入を検討する。		
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し							
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し							
		C 抜本的な見直し							
		D 縮小・廃止							
E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民体育大会等開催事業				担当部署 生涯学習部 課 部門 系 職種 課長 担当者 係員 電話番号 石川千尋 青木昇一 544-4152						
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>		
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				スポーツ振興課				スポーツ振興法		
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）										
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務		
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)		
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 006 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
	目的										
	<対象は誰、何か> 市民体育大会「種目別大会」：市内在住勤者、市民体育大会 「自治会ブロック別大会」：市民、自治会ブロック・事業所等交流網引き大会：自治会ブロック選抜チーム・市内事業所、シニア軟式野球大会：市内在住・在勤の60歳以上の者					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> スポーツ・レクリエーションを通じて市民の交流を深めるとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として開催。また、体力及び健康増進への意識の高揚を図る。					
	実施内容										
「種目別大会」：体育協会に委託し24種目を実施。 「自治会ブロック別大会」：自治会連合会に委託し、19のブロックが14会場で実施。 「自治会ブロック・事業所等交流網引き大会」：自治会連合会・体育指導委員・商工会で構成する実行委員会に委託し、一般男子1部・2部、一般女子の部を実施。 「シニア軟式野球大会」：還暦軟式野球連盟を主体とする実行委員会に委託し、実施。					「種目別大会」：参加者 7,904人 「自治会ブロック別大会」：参加者 12,127人 「網引き大会」：参加チーム数 12チーム（136人） 「シニア軟式野球大会」：参加者 74人						
事務事業概要	実績・成果										
	コスト (単位) 22決算 23当初予算 23決算 24当初予算 備考<特財名称等>										
	直接事業費 千円		8,409	8,853	8,333	9,165					
	財源内訳	国庫支出金 千円									
		都支出金 千円									
		地方債 千円									
		その他特定財源 千円				380					
		一般財源 千円	8,409	8,853	8,333	8,785					
	一般職員人件費 千円		4,980	4,980	4,980	4,980					
	人工数 人		0.60	0.60	0.60	0.60					
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0						
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00						
総事業費 千円		13,389	13,833	13,313	14,145						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか） 3			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3							
	判断理由 昭島市におけるスポーツの振興と、市民の健康づくり、市民相互の交流等、その果たす役割は大きく、今後も継続して行く必要がある。			判断理由 それぞれ体育協会、自治会連合会、実行委員会に委託をして実施しているが、運営等も順調である。							
	③達成度（成果はどの程度あるか） 4			④効率性（効率的に実施できたか） 3							
	判断理由 「自治会ブロック・事業所等交流網引き大会」について、参加自治会ブロック数が減少してきており、交流という効果が減少傾向である。			判断理由 自治会20ブロック全てが参加する運動会は参加者が毎年12,000人にもなる。また、種目別大会は毎年8,000人の参加があり市民の健康づくり、体力づくりに寄与している。							
	課題と今後の方向性										
	今後の方針性（以下より選択） A		現状における課題 「自治会ブロック・事業所等交流網引き大会」は、多くの自治会ブロックの参加が期待できる「種目」への再検討が必要。				平成25年度予算編成における具体的な取組 「自治会ブロック・事業所等交流網引き大会」は、ブロック・事業所限定を外し、市民の誰でもが参加できる大会として独立。別途、「自治会ブロック対抗スポーツ大会」を開催。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持										

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 新春駅伝競走大会開催事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152			
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法			
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務			
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)			
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 007 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	目的 <対象は誰、何か> 市内在住・在勤・在学の中学生以上の者で編成するチーム（一般男子1部は、市外の中学生以上の者で編成するチームの参加を認める。）											
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> スポーツの振興と走ることによる健康づくり・市民の交流をはかる。											
	実施内容 市内周回コースで一般男子1部、同2部、一般女子、壮年、中学男子、中学女子の6部門で駅伝競技を行う。1チームは6人（一般男子1部のみ5人）。運営は陸上競技協会へ委託。参加費は傷害保険料等として正選手1人100円、ゼッケン代として1チーム1,000円を徴収するが、中学生のみのチームは免除。											
	実績・成果 平成24年1月8日開催。参加チーム数 193チーム、参加人数 1,349人。											
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>					
	直接事業費 千円		2,119	2,240	2,146	2,240	各種講習会受講料					
	財源内訳	国庫支出金 千円										
		都支出金 千円										
		地方債 千円										
		その他特定財源 千円	62	50	63	50						
		一般財源 千円	2,057	2,190	2,083	2,190						
	一般職員人件費 千円		4,980	4,980	4,980	4,980						
	人工数 人		0.60	0.60	0.60	0.60						
	再任用職員人件費 千円		0	0	0	0						
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00							
総事業費 千円		7,099	7,220	7,126	7,220							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由	新春を飾るスポーツとして市民に定着しており、参加者も多い。また、中学校運動部からの参加も多い。			判断理由	運営については、陸上競技協会に委託。中学生のみのチームを除き、保険料、ゼッケン代を徴収。看板設置等、一部業務については民間に委託。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3				
	判断理由	新春を飾るスポーツとして市民に定着しており、沿道での応援も多い。			判断理由	警察、消防、体育協会等の協力を得て中学生から大人まで多くの市民が参加している大会である。出場チーム数は年々増加傾向にある。						
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		B	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組					
					今後も、大会を取り巻く交通環境等の変化に対応しつつ、安全で楽しめる大会の開催を追求する必要がある。また参加者から迅速にタイムや順位を教えてもらいたいという要求が年々高まっており、他の自治体の駅伝大会でも取り入れている電子チップの導入が課題である。		駅伝大会開催の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。					
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し										
B コスト改善に向けて実施方法を見直し												
C 抜本的な見直し												
D 縮小・廃止												
E 現状を維持												

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 選手・役員大会派遣事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152	
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>	
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								スポーツ振興法	
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務	
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)	
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 008 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 市内在住・在勤・在学者									
	実施内容 体育協会に委託し、市代表の選手・役員を各種大会に派遣する。 派遣大会) 都民体育大会、市町村総合体育大会、都民生涯スポーツ大会、都民スポレクふれあい大会 また、市町村総合体育大会開催にあたり負担金を支出。									
	実績・成果 都民体育大会：17種目 250人 市町村総合体育大会：18種目 173人 都民生涯スポーツ大会及び都民スポレクふれあい大会：12種目 141人 市町村総合体育大会負担金 310,000円									
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		1,432	1,693	1,295	1,693				
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	1,432	1,693	1,295	1,693				
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830				
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10				
	再任用職員人件費 千円		0	0	0	0				
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00					
総事業費 千円		2,262	2,523	2,125	2,523					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	市を代表する選手・役員を派遣することは、今後も生涯スポーツ活動支援の一環として継続していく必要がある。			判断理由	各大会への選抜・派遣は体育協会に委託している。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
	判断理由	上部大会への選抜・派遣は、スポーツの振興に果たす役割は大きい。			判断理由	毎年行われる都民体育大会、市町村総合体育大会、都民生涯スポーツ大会に500人程度の参加者があり日頃鍛えた力と技を発揮している。ほぼ毎年入賞以上の成績を残している。				
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）	E	現状における課題 事業委託先（体育協会）と協議し、派遣人員の適正数を検証していく。		平成25年度予算編成における具体的な取組 選手・役員大会派遣事業の事業活動に必要な予算を適切に計上していく。				
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持								

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 スポーツ団体補助事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 青木昇一 544-4152			
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）					スポーツ振興法 昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱				
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）									
	中項目	04	スポーツ・レクリエーション					法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）	昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）							<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)			
	予算科目コード	款 10	項 05	目 01	細目 009	細々目 01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)					
	目的											
	<対象は誰、何か> 社会教育関係団体					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民の自主的な社会教育活動を推進し、社会教育の発展を図る。						
	実施内容					実績・成果						
事務事業概要	次の団体に補助金を交付する。 ・体育協会 ・リトルリーグ野球協会 ・少年野球連盟 ・早朝軟式野球連盟 ・ゲートボール協会 ・フットベースボール協会				次の団体に補助金を交付した。 ・体育協会 (2,260,000円) ・リトルリーグ野球協会 (258,000円) ・少年野球連盟 (103,000円) ・早朝軟式野球連盟 (100,000円) ・ゲートボール協会 (450,000円) ・フットベースボール協会 (50,000円)							
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>					
	直接事業費 千円		3,326	3,276	3,275	3,226						
	財源内訳	国庫支出金 千円										
		都支出金 千円										
		地方債 千円										
		その他特定財源 千円										
		一般財源 千円	3,326	3,276	3,275	3,226						
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830						
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10						
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0							
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00							
総事業費 千円		4,156	4,106	4,105	4,056							
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3				
	判断理由 市民の自主的な社会教育活動を促進し、市の社会教育の発展を図る。			判断理由 昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、補助金を支出。								
事務事業評価	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			3				
	判断理由 各団体とも、大会を開催するなど有効に使用されている。			判断理由 市の体育・スポーツ団体の発展を図るために補助事業であり、各団体とも毎年総会を開き、予算・決算及び事業計画を報告し効率的な運営に努めている。								
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題 団体の総収入額に占める割合等を慎重に検討し、引き続き適正な補助に努める			平成25年度予算編成における具体的な取組 他市の状況等も参考にしながら団体に対する補助金の見直しを検討していく。						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持											

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 スポーツ・レクリエーション施設及び学校開放事業				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係					
					課長 石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152					
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>	
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								スポーツ振興法	
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								昭島市立学校施設設備使用条例	
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務	
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)	
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 010 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 市民									
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> スポーツ・レクリエーション活動の場として施設を開放									
事務事業概要	実施内容 スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）：5月～10月毎週水・金・第3日曜日 小学校プール開放：富士見丘小・つつじが丘南小・拝島第2小・拝島第3小 夏休み期間中5日間PTAに委託して実施 校庭夜間照明施設開放：つつじが丘北小・拝島第4小・昭和中 4月～11月（校庭・テニスコート）				実績・成果 スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）：利用人数 1,237人 小学校プール開放：利用人数 1,171人 校庭夜間照明施設開放：利用人数 3,291人					
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		699	1,188	910	80				
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円								
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円								
		一般財源 千円	699	1,188	910	80				
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830				
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10				
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0					
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00					
総事業費 千円		1,529	2,018	1,740	910					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか） 2			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3						
	判断理由 スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）は、個人や家族連れの方が事前予約にこだわらず、気軽にスポーツ施設を利用することができます。 小学校プール開放は、市営プールに比較的遠距離の児童を対象に、体力向上、健康増進の場として小学校プールを開放し、児童の健全な育成を図る。 校庭夜間照明施設開放は、社会人等のスポーツ参加への機会確保・拡大を図っている。			判断理由 スポーツ・レクリエーション施設開放（昭和公園陸上競技場・テニスコート）は、開放時間中、硬式テニス・ソフトテニス・陸上競技の各協会に管理指導を依頼（有償）。小学校プール開放は、該当校のPTAに委託。校庭夜間照明施設開放の受付は、総合スポーツセンター受付業務に含めて民間業者へ委託。利用者からは夜間照明施設利用料として校庭1,300円（昭和中校庭全面利用は2,600円）、テニスコート800円を負担してもらっている。						
	③達成度（成果はどの程度あるか） 2			④効率性（効率的に実施できたか） 3						
	判断理由 各事業とも利用者は多い。			判断理由 市の学校等の施設を使うため、低コストで子どもから大人まで多くの市民にスポーツを楽しんでもらっている。23年度は校庭夜間照明の交換を全校で実施した。						
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択） B		現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組				
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		小学校プール開放事業について、他の委託先等を検討できる。		学校からの要望事項もあがっているが、利用状況等もみながら予算計上をしていく。				

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 親子ふれあいスポーツデー開催事業				担当部署 生涯学習部 課 運営課 係 運営係				
	第5次総合基本計画における位置付け				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				実施根拠<法令、要綱等>				
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法				
	中項目 O4 スポーツ・レクリエーション				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」				<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)				
	予算科目コード 款 10 項 05 目 01 細目 011 細々目 01				<input type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)				
	目的 <対象は誰、何か> 市内の小学生とその保護者								
	実施内容 市の東部・中部・西部・青梅線北側の各地区で、年1回づつ計4回、土曜日の午前中に小学校の校庭及び体育館を利用して「親子ふれあいスポーツデー」を開催。 種目) ストラックアウト（ボール・フリスビー）、輪投げ、ドッヂビー、グラウンドゴルフ、インドアペタンク、新体力テスト								
	実績・成果 第1回（武蔵野小）参加者 103人 第2回（拝島第三小）参加者 73人 第3回（共成小）参加者 38人 第4回（田中小）参加者 33人								
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
	直接事業費 千円		114	80	124	80	寄附金		
	財源内訳	国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他特定財源 千円	40		47				
		一般財源 千円	74	80	77	80			
	一般職員人件費 千円		830	830	830	830			
	人工数 人		0.10	0.10	0.10	0.10			
	再任用職員人件費 千円		0	0	0	0			
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00				
総事業費 千円		944	910	954	910				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3	
	判断理由 親子がスポーツを一緒にすることを通じて交流を一層深める機会を提供。			判断理由 体育指導委員、レクリエーション研究会、グラウンドゴルフ協会の協力を得て実施。各回、指導員3人(@1,250円×4時間×3人)を依頼。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			2	④効率性（効率的に実施できたか）			3	
	判断理由 余暇の過ごし方が多様化してきており、親子でいっしょに来場される参加者は少ない。			判断理由 スポーツ推進委員らの協力のもと小学校の校庭・体育館を使い、土曜日の午前中に親子でスポーツを楽しんでもらっているが、週休2日性が定着してきたためか親子の参加者が少ないので効率性は低い評価となる。					
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		A	現状における課題 親子での参加が少ないばかりか、全体の参加者も少なく、事業の効果が薄れている。青少年とともにあゆむ各小学校地区委員会でも、スポーツ大会を開催している現状もあることから、今後は、同委員会事業との一本化や事業内容の見直し等、検討する必要があると思われる。		平成25年度予算編成における具体的な取組 人気種目を追加するなど、参加者増に努める。		
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し							
		B コスト改善に向けて実施方法を見直し							
		C 抜本的な見直し							
		D 縮小・廃止							
E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 総合スポーツセンター管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152	
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>	
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）								スポーツ振興法	
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）								昭島市総合スポーツセンター条例	
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務	
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)	
	予算科目コード 款 10 項 05 目 02 細目 001 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 市民・団体等									
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民の公共スポーツ施設の拠点として充実したサービスを提供									
	事務事業概要	実施内容 総合スポーツセンターの管理・運営等を民間に委託し、官民一体となって充実したサービスを提供していく。また、各種スポーツ教室についても民間に委託し、効果的な運営を行う。 総合スポーツセンター：体育室、軽体操室、柔道場、剣道場、弓道場、温水プール、トレーニングルーム、研修室 スポーツ教室：「健康さわやか教室」「親子体操教室」等27事業				実績・成果 団体利用 ・体育室（2ヶ所）：1,922件 ・軽体操室（2ヶ所）：3,078件 ・柔剣道場：1,128件 ・弓道場：426件 ・温水プール：1,225件 個人利用 ・軽体操室（2ヶ所）：1,491人 ・柔剣道場：2,424人 ・弓道場：176人 ・温水プール：48,147人 ・トレーニングルーム：67,284				
コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>				
直接事業費 千円		178,321	187,857	186,616	185,224	総合スポーツセンター使用料				
財源内訳		国庫支出金 千円					庁舎等光熱水費			
		都支出金 千円		4,090			緊急雇用創出事業臨時特例補助金			
		地方債 千円					行政財産使用料			
		その他特定財源 千円	63,313	67,360	68,734	67,645				
		一般財源 千円	115,003	116,407	117,882	117,579	その他			
一般職員人件費 千円		1,660	1,660	1,660	1,660					
人工数 人		0.20	0.20	0.20	0.20					
再任用職員人件費 千円		3,280	3,280	3,280	4,100					
人工数 人		0.80	0.80	0.80	1.00					
総事業費 千円		183,261	192,797	191,556	190,984					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			2		
	判断理由 廉価で通年利用できる温水プールやトレーニングジム、屋内競技用の体育施設は、市民の健康づくりのために必要。			判断理由 総合スポーツセンターの管理・運営及び各種スポーツ教室の開催は民間に委託し、官民一体となって充実したサービスを提供している。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
判断理由 内には同規模以上の体育施設は無く、市内の公共スポーツ施設の拠点となって多くの市民に利用されている。			判断理由 体育室、温水プール、トレーニング室等を備えた体育館であるので一定の維持管理費はかかるが、省エネに努めている。利用者は増加傾向にある。							
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	B	現状における課題 市内料金、市外料金等の設定について検討できる。また、施設が老朽化してきている部分も見受けられるので、利用者の安全・安心という面からも計画的な修繕等を検討する必要がある。			平成25年度予算編成における具体的な取組 必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 みほり体育館管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152				
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目		03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）						スポーツ振興法			
	大項目		03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）						昭島市みほり体育館条例			
	中項目		04	スポーツ・レクリエーション						法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）		「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)		
	予算科目コード		款 10	項 05	目 02	細目 002	細々目 01					<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か> 市民・団体等												
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民のふれあい、スポーツ・レクリエーションの場として設置												
	実施内容 体育室（420m <sup>2</sup> ）と研修室（66m <sup>2</sup> ）の貸出及び管理。9時～21時開館。毎月曜日休館。昼間は再任用職員又は臨時職員、夜間は管理員又は臨時管理員がそれぞれローテーションにより1人づつ勤務。当該体育館施設は、都が都営住宅内に建設したものを使用許可（無償）を受け運営。												
事務事業概要	実績・成果 団体利用 ・体育室：832件（15,524人） ・研修室：342件（2,941人） 個人利用 ・体育室：2,138人												
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>						
	直接事業費 千円		6,502	7,169	7,023	6,681	みほり体育館使用料 雇用保険料 庁舎等光熱水費						
	財源内訳	国庫支出金 千円											
		都支出金 千円											
		地方債 千円											
		その他特定財源 千円	2,030	1,982	2,034	1,982							
		一般財源 千円	4,472	5,187	4,989	4,699							
	一般職員人件費 千円		1,660	1,660	1,660	1,660	みほり体育館使用料 雇用保険料 庁舎等光熱水費						
	人工数 人		0.20	0.20	0.20	0.20							
再任用職員人件費 千円		4,100	4,100	4,100	4,100								
人工数 人		1.00	1.00	1.00	1.00	みほり体育館使用料 雇用保険料 庁舎等光熱水費							
総事業費 千円		12,262	12,929	12,783	12,441								
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による													
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）		3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）		2							
	判断理由	地域の体育館として定着しており、継続して利用する市民もいる。本市におけるスポーツ振興の拠点のひとつとして存続する必要がある。		判断理由	施設の管理は、昼間は再任用職員又は臨時職員、夜間は管理員又は臨時管理員がそれぞれローテーションにより1人づつ勤務している。 施設利用料は市民、他市民とも同額。								
事務事業評価	③達成度（成果はどの程度あるか）		3	④効率性（効率的に実施できたか）		3							
	判断理由	小規模ながら、市の西部にある体育施設として市民のスポーツ・レクリエーション活動に利用されている。		判断理由	市民の健康づくり、体力づくりに寄与している施設で一定の維持管理費はかかるが省エネに努めている。利用者は横ばいである。								
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		B	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組							
				現在施設利用料は、市民、他市民とも同額であるが、市内料金、市外料金等の設定について検討の必要がある。また、施設が老朽化してきている部分も見受けられるので、利用者の安全・安心という面からも計画的な修繕等を検討する必要がある。		必要な修繕等を行うとともに、事業費の削減に努める。							
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し												
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し												
	C 抜本的な見直し												
	D 縮小・廃止												
E 現状を維持													

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民プール管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>					
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				スポーツ振興法					
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				法令による事業実施義務					
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション				□ 義務(□ 市上乗せあり)					
	個別計画（年度） 昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）				☑ 任意(□ 都補助等あり)					
	予算科目コード	款 10 項 05 目 03 細目 001 細々目 01								
	目的									
	<対象は誰、何か> 市民等				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民の夏季における健康づくりや遊びの場として開設					
	実施内容				実績・成果					
事務事業概要	7月16日（土）～8月31日（水）までの47日間（うち機械点検休業日2日）開設。運営は民間会社に委託。駐車場あり（東京都下水道局用地を無償借用） プールの種類) 流水プール、25mプール、児童用プール、幼児用プール、スライダープール				利用料金 ・大人2時間 200円 ・小人2時間 50円 ・ロッカ一代 50円 利用者数 ・大人 11,049人 ・小人 19,189人					
	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費 千円		22,140	23,503	20,396	37,812	市民プール使用料			
	財源内訳	国庫支出金 千円								
		都支出金 千円				6,800				
		地方債 千円								
		その他特定財源 千円	6,080	4,665	4,265	4,779				
		一般財源 千円	16,060	18,838	16,131	26,233				
	一般職員人件費 千円		1,660	830	830	830				
	再任用職員人件費	人工数 人	0.20	0.10	0.10	0.10				
		人工数 人	0	0	0	0				
		総事業費 千円	23,800	24,333	21,226	38,642				
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由	市民の夏季における健康づくりや遊びの場として、市営プールを開設。			判断理由	運営は民間会社に委託をし、経費の削減に努めている。				
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3		
課題と今後の方向性	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	判断理由	夏季における市民の健康づくり・体力づくりに寄与している施設であるが、利用者の安全を確保するため毎年多額な維持管理経費を必要とする。				
	④効率性（効率的に実施できたか）			3						
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		C	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組				
				必要性は認められるものの、施設の老朽化も進行し、また、利用者に安全に使ってもらうためには多額な必要経費もかかるなかで、現在の厳しい財政状況下において施設を将来的に運営し続けるか検討する必要がある。		安全・安心のため必要な修繕を行う。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し									
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し									
	C 抜本的な見直し									
	D 縮小・廃止									
	E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 拝島公園プール管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 スポーツ振興課 係 スポーツ振興係				石川千尋 担当 青木昇一 電話 544-4152		
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>		
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				スポーツ振興法		
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション								法令による事業実施義務		
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」								<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)		
	予算科目コード 款 10 項 05 目 03 細目 002 細々目 01								<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
	目的 <対象は誰、何か> 市民等										
	実施内容 7月16日（土）～8月31日（水）までの47日間（うち機械点検休業日2日）開設。運営は民間会社に委託。駐車場なし。 プールの種類) 25mプール、児童用プール、幼児用プール										
	実績・成果 利用料金 ・大人2時間 200円 ・小人2時間 50円 ・ロッカ一代 50円 利用者数 ・大人 1,211人 ・小人 2,764人										
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
直接事業費 千円		13,962	13,232	12,554	11,890	拝島公園プール使用料					
財源内訳		国庫支出金 千円					庁舎等光熱水費				
		都支出金 千円				0					
		地方債 千円									
		その他特定財源 千円	673	524	516	537					
		一般財源 千円	13,289	12,708	12,038	11,353					
一般職員人件費 千円		1,660	830	830	830						
人工数 人		0.20	0.10	0.10	0.10						
再任用職員人件費 千円		0	0	0	0						
人工数 人		0.00	0.00	0.00	0.00						
総事業費 千円		15,622	14,062	13,384	12,720						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
	①優先度（どの程度優先されるべきか） 3				②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3						
	判断理由	市民の夏季における健康づくりや遊びの場として、市営プールを開設。				判断理由	運営は民間会社に委託をし、経費の削減に努めている。				
	③達成度（成果はどの程度あるか） 3				④効率性（効率的に実施できたか） 3						
	判断理由	市内西部地区における夏期の市民のレクリエーションの場として定着している。				判断理由	夏季における市民の健康づくり・体力づくりに寄与している施設であるが、利用者の安全を確保するため毎年多額な維持管理経費を必要とする。				
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		C	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組			
					必要性は認められるものの、施設の老朽化も進行し、また、利用者に安全に使ってもらうためには多額な必要経費もかかるなかで、現在の厳しい財政状況下において施設を将来的に運営し続けるか検討する必要がある。			安全・安心のため必要な修繕を行う。			
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し									
B コスト改善に向けて実施方法を見直し											
C 抜本的な見直し											
D 縮小・廃止											
E 現状を維持											

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 運動施設管理運営				担当部署 生涯学習部 課 運動施設管理課 係 運動施設管理係			
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				スポーツ振興法			
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
	中項目 04 スポーツ・レクリエーション				法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）「昭島市スポーツ振興計画（平成19年度～平成27年度）」				<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)			
	予算科目コード 款 10 項 05 目 03 細目 003 細々目 01				<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	目的 <対象は誰、何か> 市民・団体等				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民の健康増進や体力づくり、スポーツを普及する場として提供			
	実施内容 市内の屋外運動施設の良好な維持管理作業を民間に委託して実施。 (屋外運動施設) 昭和公園：市民球場、陸上競技（サッカー）場、テニスコート（7面） 大神公園：サッカー場、野球場（4面） くじら運動公園：少年サッカー場（2面）、少年野球場（4面）、テニスコート（5面）、ソフトボール場（4面） 美の宮公園：ソフトボール場				実績・成果 (利用実績) 昭和公園：市民球場（168件）、陸上競技場（30件）、サッカー場（117件）、テニスコート（3,741件）、駐車場利用台数：67,202台 大神公園：サッカー場（196件）、野球場（816件） くじら運動公園：少年サッカー場（176件）、少年野球場（169件）、テニスコート（1,582件）、ソフトボール場（634件） 美の宮公園：ソフトボール場（286件）			
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>
直接事業費		千円	57,535	57,205	56,612	52,532	昭和公園運動施設等使用料 庁舎等光熱水費 電話料 緊急雇用創出事業臨時特例補助金	
財源内訳		国庫支出金	千円	3,500				
		都支出金	千円	10,474	13,782	15,380		3,200
		地方債	千円					
		その他特定財源	千円	17,591	14,479	16,361		15,201
		一般財源	千円	25,970	28,944	24,871		34,131
一般職員人件費		千円	11,620	9,960	9,960	9,960		
人工数		人	1.40	1.20	1.20	1.20		
再任用職員人件費		千円	0	0	0	0		
人工数		人	0.00	0.00	0.00	0.00		
総事業費		千円	69,155	67,165	66,572	62,492		
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			4
	判断理由	市民の健康づくりのためにも、整備された運動施設は必要。			判断理由	受付及び維持管理作業は民間会社に委託している。大神公園及びくじら運動公園は、国から河川敷を無償借用し、運動施設に整備、利用している。		
	判断理由	年間を通じて利用者は多く、市民の健康づくりに寄与している。			判断理由	市民球場や陸上競技場等の運動施設は土日を中心にお多くの市民の利用がある。施設整備も一定の維持管理コストで適切な対応を図っている。		
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組	
					利用者の安全・安心という面からも計画的な修繕等を検討する必要がある。		安全・安心のため必要な修繕を行う。	
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持						

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署			
	スポーツ祭東京2013運営事業				部	生涯学習	課長	武藤 茂
					課	国体推進室	担当	原 孝
					係		電話	内線2247
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）							
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
	中項目 O4 スポーツ・レクリエーション							
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画（平成22年度～26年度）				法令による事業実施義務			
	予算科目コード		款	10 項	05 目	01 細目	012 細々目	01
						<input checked="" type="checkbox"/> 任意	<input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的							
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>			
	市民、教育機関、市職員				平成25年度実施のスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）において、昭島市では、軟式野球競技が行われることを広く市民へ周知するとともに、大会開催に向け万全の準備を整える。			
	実施内容							
	○ 第2回実行委員会総会を開催 ○ 第1回常任委員会を開催 ○ 専門委員会を開催 ○ 軟式野球競技開催6市連絡会を開催 ○ リハーサル大会開催4市連絡会を開催 ○ 先催県開催状況を視察 ○ 少年少女軟式野球教室を開催 ○ インドアペタンク教室を開催				実績・成果 平成25年度実施のスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）において、昭島市で行われる軟式野球競技開催の準備が進んでいる。			
	コスト (単位)							
	直接事業費		千円	22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>
	財源内訳	国庫支出金	千円		964	1,654	5,425	・国民体育大会 ・競技普及啓発事業 補助金
		都支出金	千円			553	544	
		地方債	千円					
その他特定財源		千円				1,348		
一般財源		千円		964	1,101	3,533		
一般職員人件費		千円		16,600	16,600	24,900		
人工数		人		2.00	2.00	3.00		
再任用職員人件費		千円		3,280	3,280	4,100		
人工数		人		0.80	0.80	1.00		
総事業費		千円		20,844	21,534	34,425		
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			4
	判断理由	スポーツ祭東京2013は、東京都において開催される。			判断理由	組織改正に伴い、平成22年度に比べ組織の充実が図れた。		
	③達成度（成果はどの程度あるか）	4						3
	判断理由	スポーツ祭東京2013昭島市実行委員会第1回総会で決められた、平成23年度事業計画に沿っておおむね実施できた。			判断理由	22年度より、コストもサービス量も増加した。		
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	A	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組		
			○ 事務量の増加が見込まれる ○ より専門的知識、作業が見込まれる			<input type="checkbox"/> 臨時職員賃金等を見込む <input type="checkbox"/> 報告資料作成委託等を見込む <input type="checkbox"/> 本大会開催運営費を見込む		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持							

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民図書館協議会事務				担当部署 生涯学習部 市民図書館 整理係				太田 勇 有馬美佐子 042-543-1523		
	第5次総合基本計画における位置付け								実施根拠<法令、要綱等>		
	政策項目	03	未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）					図書館法			
	大項目	03	「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）					昭島市市民図書館協議会条例			
	中項目	02	図書館活動					法令による事業実施義務			
	個別計画（年度）								<input type="checkbox"/> 義務( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)		
	予算科目コード		款	10	項	04	目	05	細目 002	細々目 01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)
	目的 <対象は誰、何か> 市民、図書館に関わる団体、教育機関、図書館職員 図書館の健全な発達 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 図書館運営に関し、図書館長の諮詢に応じるとともに、図書館長に対して意見を述べる										
	実施内容 ○図書館協議会の開催 ○子ども読書活動推進計画評価等会議の開催 ○図書館との共催事業「市民参加による先進図書館見学ツアー」の実施 ○図書館協議会を年2回開催し、事務報告の承認等を行った。 ○子ども読書活動推進計画評価等会議において、進捗状況の確認を行った。 ○今後の昭島市における子ども読書活動推進計画の実施や図書館運営に活かすため、先進図書館の見学を行った。										
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
直接事業費		千円	330	400	210	300					
財源内訳		国庫支出金	千円								
		都支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他特定財源	千円								
		一般財源	千円	330	400	210	300				
一般職員人件費		千円	830	830	830	830					
再任用職員人件費		人工数	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
		人工数	人	0.00	0.00	0.00	0.00				
	総事業費	千円	1,160	1,230	1,040	1,130					
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3			
	判断理由	図書館運営に関して、図書館長に対して意見を述べる機関であり、必要度は高い。			図書館法の趣旨に基づき活動がなされている。図書館法第14条に基づき設置、昭島市市民図書館協議会条例第3条に基づき、公募委員2名を含めて委員会を委嘱しており、実施方法は適切である。						
	判断理由	③達成度（成果はどの程度あるか）			4				4		
		図書館運営にあたって的確な助言を得ている。									
	課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組			
		A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持		地域主権確立のため図書館法が改正され、委員の任命基準は自治体の条例で定めることになった。政策決定の主体がより住民となるよう努める。			引き続き、市民図書館協議会の有効な活用を図るため、委員報酬を予算計上する。				

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民図書館管理運営					担当部署 生涯学習部 市民図書館 貸出係				
	第5次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目		O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）			昭島市市民図書館設置条例、昭島市市民図書館運営規則、子ども読書活動推進計画。				
	大項目		O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
	中項目		O2 図書館活動			法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		「昭島市教育振興基本計画」「昭島市生涯学習推進計画」「子ども読書活動推進計画」			<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)				
	予算科目コード		款	10	項	04	目	05	細目 003 細々目 01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)
	目的 <対象は誰、何か> 市民。図書館利用者に対するサービス提供。									
	実施内容 ○小学校新一年生における貸出券の作成：「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行をふまえて平成14年度から実施。 ○おはなし会の実施：市民図書館本館、分館・分室で乳幼児から低学年向けのおはなし会を月1回以上実施。 ○講演会・講習会の開催（子ども読書活動推進事業） 子ども向け：「夏休み科学あそび」、「とびだすカードをつくろう！」 保護者向け：「初めての読み聞かせ講座」、「とよたかずひこさんのおはなし会」 市民向け：「あきしま語りのまつり」、「中学高校生の読書フォーラム」 ○ボランティア向け：「おはなしボランティア向け講座」 ○ティジー講習会の実施 ○図書購入									
	実績・成果 ○新一年生920人中582人に貸出券を交付した。 ○おはなし会を本館、分館・分室合わせて180回実施し延べ1,486人の参加があった。 ○講演会、講習会、講座を実施。（延べ338名が参加） ○ティジー図書を作成するための録音及び編集技術の習得のため11人の音訳者ボランティアが希望参加した。 ○図書の購入24,380冊（一般16,660冊、児童図書7,720冊）購入し蔵書冊数は350,566冊となった。									
事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
	直接事業費		千円	107,815	141,535	144,743	134,963	・住民に光をそそぐ交付金		
	財源内訳	国庫支出金	千円			9,617		・緊急雇用創出事業臨時特例交付金		
		都支出金	千円	3,257	3,658	3,789	3,688	・障害者施策		
		地方債	千円					推進区市町村包括補助金		
		その他特定財源	千円	2,188	590	952	584	・行政財産使用料		
		一般財源	千円	102,370	137,287	130,385	130,691	・雇用保険料		
	一般職員人件費		千円	148,570	123,670	107,070	107,070	・複写機利用料		
	人工数		人	17.90	14.90	12.90	12.90	・ホームページ広告掲載料		
	再任用職員人件費		千円	5,330	3,280	3,280	6,560			
人工数		人	1.30	0.80	0.80	1.60				
総事業費		千円	261,715	268,485	255,093	248,593				
個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による										
事務事業評価	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			2		
	判断理由			小学校1年生に貸出券を新規作成し交付することで登録率と貸出率の向上につながっていく。おはなし会や読み聞かせ講座や講演会の実施は未就学児や乳幼児や保護者に対して、図書への親しみを持ってもらえる。読書フォーラムの開催は、中高生の読書離れに歯止めをかける役割もある。新規図書を購入していくことは、最新の情報を発信する知の拠点として必要なことである。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			4		
	判断理由			貸出券の新規作成事業は、毎年、申込みが多く順調である。本館、分館などで開催するおはなし会は、おはなしボランティアの活動で実施できている。子ども向けの講習会は参加希望者は多い。新規図書を購入することで市民からのリクエストにも対応している。						
	課題と今後の方向性（以下より選択）			E	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し			○本館、分館で開催するおはなし会への小学生の参加人数が少ない。 ○中学高校生の登録率、利用が少ない。 ○市民ニーズにこたえるために所蔵する図書を増やし、快適な図書館サービスを提供する。 ○新規事業の実施に伴う、サービスの低下を防ぐためにボランティアの活用を図る。			○おはなし会の開催時間の変更を検討する。（小児と小学生に分けることを検討する。） ○小学校と協力しブックトークを行う。 ○中学校に設置した「子ども読書活動推進委員会」の活性化を図るため、図書館職員を派遣する。 ○新規購入した図書を配架するため、現行の閉架書庫（外部）を増やす。			
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し									
	C 抜本的な見直し									
	D 縮小・廃止									
	E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民会館管理運営				担当部署 生涯学習部 市民会館・公民館 管理係								
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>								
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				昭島市民会館条例、昭島市民会館条例施行規則								
	大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				法令による事業実施義務								
	中項目 03 文化・芸術												
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画		<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)										
	予算科目コード 款 10 項 04 目 06 細目 002 細々目 01		<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)										
	目的												
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>								
	市民、市民会館利用団体（社会教育団体、文化事業協会、社会福祉法人、学校、劇団、会社・事業所等）				市民の文化活動の場であり、芸術鑑賞の機会を提供し、芸術を創造・発信する場としての市民会館の機能を維持するため。								
事務事業概要	実施内容				実績・成果								
	○施設貸出業務 ○施設維持管理（施設消耗品、施設修繕、樹木せん定、營繕等） ○施設用備品（大ホールスポットライト、ウォーターカーラー） ○施設設備等保守委託18項目				平成23年度の市民会館利用日数は164日で、社会教育団体、文化事業協会、学校、会社、劇団等の団体の利用があったが、震災による新規受付制限等の影響もあり、利用率は54%、鑑賞者数は延べ78,900人である。平成25年1月からの大規模改修工事に伴う実施設計を現在施行中であり、平成24年9月に工事の設計・積算等を完了する予定である。								
	コスト (単位)		22決算		23当初予算		23決算						
	直接事業費		千円 140,044		千円 135,251		千円 104,385						
	財源内訳	国庫支出金	千円 38,456		千円 9,995		千円 2,988						
		都支出金	千円		千円 18,000		千円 151,815						
		地方債	千円										
		その他特定財源	千円 33,533		千円 36,747		千円 36,651						
		一般財源	千円 68,055		千円 70,509		千円 64,746						
	一般職員人件費		千円 48,140		千円 46,480		千円 46,480						
	判断理由	人工数	人 5.80		人 5.60		人 5.60						
		再任用職員人件費	千円 4,100		千円 8,200		千円 8,200						
	判断理由	人工数	人 1.00		人 2.00		人 2.00						
		総事業費	千円 192,284		千円 189,931		千円 159,065						
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による												
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			5		②妥当性（実施方法は妥当であるか）		3					
	判断理由	施設維持管理に要する経費等であるため、当該事業の優先度は1番目程度である。			判断理由	施設の安全性を維持するため、設備機器等の保守点検等を多くの項目で実施している。施設修繕においては、業務職員が営繕・補修等を行い維持管理に努めている。							
		③達成度（成果はどの程度あるか）				④効率性（効率的に実施できたか）		4					
	判断理由	安全・安心な設備環境の維持、芸術鑑賞のための快適な音響・照明・舞台等の環境整備に向けて、施設改善に努めている。			判断理由	施設設備の老朽化により、限られた経費のなかで優先順位を設定し施設の補修、維持管理等を実施している。施設設備品類も毎年少しずつ更新している。							
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		B	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組						
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し			○経年による施設設備の老朽化による維持管理等経費の増大			○平成25年1月から平成25年9月の期間で、市民会館・公民館大規模改修工事を実施する。						
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し			○施設利用者の安全性、快適性など、サービスを向上させなければならない。									
	C 抜本的な見直し												
	D 縮小・廃止												
	E 現状を維持												

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 文化事業協会補助事業				担当部署 生涯学習部 市民会館・公民館 管理係					
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等> 昭島市文化事業協会補助金交付要綱、文化芸術振興基本法、昭島市民会館条例、昭島市民会館条例施行規則					
	政策項目 03 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実） 大項目 03 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進） 中項目 03 文化・芸術				法令による事業実施義務					
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務		<input type="checkbox"/> 市上乗せあり			
	予算科目コード 款 10 項 04 目 06 細目 003 細々目 01				<input checked="" type="checkbox"/> 任意		<input type="checkbox"/> 都補助等あり			
	目的 <対象は誰、何か> 市民 身近なところで、優れた芸術文化に触れ、気軽に鑑賞できるよう多様な芸術鑑賞の機会を提供する。									
	実施内容 ○市民会館条例施行規則第16条の規定に基づき指定された団体である、昭島市民会館文化事業協会に補助金を交付し、市民文化の向上に寄与するため、市民会館大ホール及び公民館小ホール等を利用して、公益的な文化芸術事業を実施する。 ○大ホール自主事業6回、大ホール共催事業4回、昭和公園薪能公演1回（自主事業）、小ホールジャズライブ1回（自主事業）、合計12回の事業を実施した									
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
		直接事業費 千円		17,400	17,400	17,400	17,400			
		財源内訳	国庫支出金 千円							
都支出金 千円										
地方債 千円										
その他特定財源 千円										
一般財源 千円			17,400	17,400	17,400	17,400				
一般職員人件費 千円		8,300	8,300	8,300	8,300					
人工数 人		1.00	1.00	1.00	1.00					
再任用職員人件費 千円										
人工数 人										
総事業費 千円		25,700	25,700	25,700	25,700					
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか） 3			②妥当性（実施方法は妥当であるか） 3						
	判断理由 市民への文化芸術鑑賞の機会を提供する目的のための事業であり、当該事業の優先度は3番目程度である。			判断理由 文化事業協会理事会での意見を基に、近隣市の公演状況や集客率等を参考に、過去の事業内容や実績等を考慮し実施している。						
	③達成度（成果はどの程度あるか） 3			④効率性（効率的に実施できたか） 4						
	判断理由 事業内容等は、市の広報、ポスター掲示、チラシ等にて多くの市民にPRしているが、大ホールの規模から開催事業の選定が難しく、集客率に繋がらない面がある。			判断理由 文化事業協会専任職員が経理事務、出演者側との調整を行い事業を実施している。平成23年度は、4回の共催事業実施により、運営費用の負担軽減を図るなど、補助金の範囲内で充実した事業を実施できるよう努力している。						
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	A	現状における課題 ○大ホールの収容規模が限られているため、開催事業等の選定がむずかしい。 ○専任職員を補佐する経理事務担当が必要な面もある。 ○チケット販売方法を検討する余地がある。			平成25年度予算編成における具体的な取組 ○平成25年1月から平成25年9月までの期間、大規模改修工事により大ホールは使用できないため、6ヶ月の期間内で効率的に自主事業を実施する予定である。				
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署			
	公民館運営審議会事務				部	生涯学習部	課長	辻 みえ子
					課	市民会館・公民館	担当	鈴木 浩一
					係	事業係	電話	内線2277
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>			
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				社会教育法 市公民館運営審議会条例 市特別職報酬条例			
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）							
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務			
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画				<input type="checkbox"/> 義務		<input type="checkbox"/> 市上乗せあり	
	予算科目コード 款 10 項 04 目 07 細目 002 細々目 01				<input checked="" type="checkbox"/> 任意		<input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的							
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>			
	市民				調査審議により、利用する市民や団体へ良好な学習環境を醸成する効果や市民ニーズの高い講座等事業の提供を図る効果がある。			
	内容							
	○公民館運営に関し必要な事項を審議。 ○公民館各種事業の企画実施について必要な事項を調査審議。 ○公民館の課題について検討 ○定例会月1回開催のほか、東京都公民館連絡協議会研修会への参加				実績・成果 定例会を毎月1回開催のほか東京都公民館連絡協議会等の研修会に参加した。定例会では随時提案等があり、公民館事業をより市民ニーズの高いものへ導いている。			
	コスト (単位)							
	直接事業費		千円	22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>
	財源内訳	国庫支出金	千円	1,392	1,462	1,396	1,432	
		都支出金	千円					
		地方債	千円					
その他特定財源		千円						
一般財源		千円	1,392	1,462	1,396	1,432		
一般職員人件費		千円	830	830	830	830		
人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10		
再任用職員人件費		千円						
人工数		人						
総事業費		千円	2,222	2,292	2,226	2,262		
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による							
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			2	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3
	判断理由 同審議会の提案等により公民館事業をより市民ニーズの高い事業環境へ醸成している。			判断理由	社会教育法に基づき設置され、民意を反映する機関として機能しているため、他機関では難しく、妥当性がある。法的には館長の諮問機関。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）			3	④効率性（効率的に実施できたか）			3
	判断理由 公民館運営審議会の提案等により、市民ニーズの高い事業環境へ醸成する成果が概ねある。			判断理由	コストはあまり変わらず、また調査審議や提言等の量的内容も横ばいである。			
課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題		平成25年度予算編成における具体的な取組			
			○委員の多くが任期（2年）で代わり、適切な調査審議までに時間を要している。 ○多岐にわたる提言等をいかに事業へ導入していくかが課題となっている。		平成25年4月から9月までの市民会館・公民館大規模改修工事期間中は本庁会議室等を利用して公民館運営審議会定例会を実施するので通常通りの取り組み予定となっている。			
A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持								

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 公民館管理運営				担当部署 部 生涯学習部 課 市民会館・公民館 係 事業係				
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実）				社会教育法 昭島市公民館条例				
	大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進）				同条例施行規則				
	中項目 O1 生涯学習				法令による事業実施義務				
	個別計画（年度）		昭島市教育振興基本計画						
	予算科目コード		款 10	項 04	目 07	細目 003	細々目 01	<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり <input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
	目的 <対象は誰、何か>								
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 市民、公民館登録団体 市民に実際生活に即する教育、学術及び文化に関する学習の場を提供することで、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する								
	事務事業概要	実施内容				実績・成果			
○市民の集団活動の拠点、学び、文化創造の場としての施設の提供 ○自由に集える拠点の場として新聞、書籍等閲覧の提供 ○印刷機の設置 ○複写機（有料）の設置 ○社会教育教材の提供				公民館で活動する団体が約400あり、市民活動の拠点となっている。施設利用率（利用日）も89%と市民ニーズが高い。また、印刷機利用は約50万枚、複写機（有料）約2.1万枚の利用があり施設利用率の高さを裏付けている。 施設利用人員総数：130,564人 公民館使用料収入：1,534,590円 複写機利用料収入：204,300円					
コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>			
直接事業費 千円		1,723	1,757	1,571	1,694	公民館使用料 複写機利用料			
財源内訳		国庫支出金 千円							
		都支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他特定財源 千円							
		一般財源 千円	1,723	1,757	1,571			1,694	
一般職員人件費 千円		2,490	2,490	2,490	3,320				
人工数 人		0.30	0.30	0.30	0.40				
再任用職員人件費 千円									
人工数 人									
総事業費 千円		4,213	4,247	4,061	5,014				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3	
	判断理由			社会教育法第3条に地方公共団体は、あらゆる機会にあらゆる場所を利用して必要な施設の設置や運営の奨励がある。また、平成23年度市民意識調査において市が市民活動のために「活動場所の提供」に力を入れることと思う市民の割合は30.4%で、平成21年度（29.9%）より若干増加している。					
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			3	
	判断理由			施設利用者数や利用率の高さなどから成果は概ねあり達成度も高い。					
	判断理由			コストはやや減少（△8.8%）したが、サービスの内容や量は変わらないので効率的に実施できた。					
	課題と今後の方向性	今後の方針性 (以下より選択)	E	現状における課題 ○施設利用率の高さの反面、予約の取りにくい状況にある。			平成25年度予算編成における具体的な取組 平成25年4月から9月まで市民会館・公民館大規模改修工事を実施するので、一部予算の減額を行う。		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持								

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 学級・講座等事業				担当部署 部 生涯学習部 課 市民会館・公民館 係 事業係					
	第5次総合基本計画における位置付け 政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実） 大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進） 中項目 O1 生涯学習				実施根拠<法令、要綱等> 社会教育法 教育振興基本計画 市公民館条例 同条例施行規則					
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画				法令による事業実施義務 <input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり)					
	予算科目コード 款 10 項 04 目 07 細目 004 細々目 01				<input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり)					
	目的 <対象は誰、何か>									
	市民 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>									
	実施内容 ○市民講座 6事業 28回 ○市民大学2事業60回 (財政、福祉、歴史等) ○シニア講座1事業4回 ○地域公民館事業4事業13回 ○交流発表鑑賞のつどい3事業4回 ○自主企画事業6事業23回 ○共催事業1事業1回 ○青年学級（障害者）1事業23回									
	実績・成果 市民講座等30事業で延4,809人の参加があった。 震災、放射能等の課題講座を6事業23回実施 高齢者向け事業、保育付講座、障害者学級では、一部都補助金の対象となり、首長部局を通じ申請した。									
	事務事業概要	コスト (単位)		22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>		
		直接事業費		千円	3,431	4,132	3,076	3,779	障害者施策推進区市町村包括補助金 高齢社会対策区市町村包括補助金 子ども家庭支援区市長村包括補助金 公民館使用料 各種講習会受講料	
財源内訳		国庫支出金	千円							
		都支出金	千円	492	642	507	568			
		地方債	千円							
		その他特定財源	千円	195	322	170	319			
		一般財源	千円	2,744	3,168	2,399	2,892			
一般職員人件費		千円	31,540	31,540	31,540	31,540				
人工数		人	3.80	3.80	3.80	3.80				
再任用職員人件費		千円								
人工数		人								
総事業費		千円	34,971	35,672	34,616	35,319				
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による									
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			4	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3		
	判断理由			現代社会は様々な課題や新しい情報が飛び交い、成人が生涯のいつでも学べる教育環境を醸成することが大切で、各種講座等事業を開設する必要がある。これらの学びにより家庭や地域社会の教育力の向上や社会福祉の増進へ導くことになる。優先度は2番目であるが1番目と僅差である。						
	③達成度（成果はどの程度あるか）			4	④効率性（効率的に実施できたか）			4		
	判断理由			数字だけで判断できない分野であるが、講座等事業参加者延4,809人であった。また、震災に係る講座を年間を通じ社会的必要課題として実施し、他では得にくい学習の機会提供を図り達成度は高い。						
	現状における課題			平成25年度予算編成における具体的な取組						
	今後の方針性 (以下より選択)			E	○市立会館等へ出向いた講座も実施しているが、遠方の市民には気軽に参加とまでいえない。 ○市民企画事業や協働事業では、実施までに多くの協議時間を費やす。 ○学習の成果が地域でどう役立っているか見えにくい。			平成25年4月から9月までの市民会館・公民館大規模改修工事期間中は市立会館等を利用し学級・講座等事業を実施し学びの提供に努める。		
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し B コスト改善に向けて実施方法を見直し C 抜本的な見直し D 縮小・廃止 E 現状を維持									

平成24年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成23年度実施事業）

基本データ	事務事業名 市民文化祭事業				担当部署 生涯学習部 市民会館・公民館 事業係				
					部	生涯学習部	課長	辻 みえ子	
					課	市民会館・公民館	担当	鈴木 浩一	
					係	事業係	電話	内線2277	
	第5次総合基本計画における位置付け				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 O3 未来を育む あきしま（教育・文化・スポーツの充実） 大項目 O3 「あきしまらしさ」を築く（市民文化・学習・スポーツの推進） 中項目 O3 文化・芸術				文化芸術振興基本法 社会教育法 市文化芸術振興条例 市公民館条例 同条例施行規則 市民文化祭開催要項				
	個別計画（年度） 昭島市教育振興基本計画				法令による事業実施義務				
	予算科目コード 款 10 項 04 目 07 細目 005 細々目 01				<input type="checkbox"/> 義務 ( <input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意 ( <input type="checkbox"/> 都補助等あり)				
	目的 <対象は誰、何か> 市民、市民団体								
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか> 文化芸術の振興は、心豊かな活力ある社会の形成に重要な意義がある。市民に日頃の文化・芸術活動の成果を発表できる機会を提供し、生きがいづくりや市民の交流を図る。								
事務事業概要	実施内容 ○10月8日～11月3日（14日間） ○主催：昭島市・昭島市教育委員会 主管：昭島市文化祭運営委員会 ○参加：28部門（73団体 4,108名） ○演奏・演芸（民謡、合唱、人形劇、朗読、大正琴、うたごえ、歌謡、邦楽、芸能、ヨーロピアン、音楽祭） ○展示（美術展、書道展、科学展、文化展、華道展、手工芸展、俳句展、平和展、山野草展、盆栽展、短歌展、菊花展、写真展、陶芸展） ○対局ほか（将棋、囲碁、茶会）				観覧者：延14,310名 出展、出演者等：28部門（73団体 4,108名） 総数18,418名				
			(単位)	22決算	23当初予算	23決算	24当初予算	備考<特財名称等>	
	直接事業費		千円	2,596	2,604	2,590	2,600		
	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他特定財源	千円						
		一般財源	千円	2,596	2,604	2,590	2,600		
	一般職員人件費		千円	5,810	5,810	5,810	5,810		
	人工数		人	0.70	0.70	0.70	0.70		
再任用職員人件費		千円							
人工数		人							
総事業費		千円	8,406	8,414	8,400	8,410			
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による								
	①優先度（どの程度優先されるべきか）			3	②妥当性（実施方法は妥当であるか）			3	
	判断理由	文化祭は、市民の日頃の文化・芸術活動の成果の発表する場として、また市民相互の交流を図る機会として、多くの市民に親しまれ、ニーズもあり、文化活動の振興と地域文化の向上発展など活力ある社会形成に必要である。			判断理由	主催は市及び教育委員会で、文化祭運営委員会へ運営委託し合理化している。出展及び出演者の受益者負担については、団体の会員数により負担額は異なるが、いずれも低額である。			
	③達成度（成果はどの程度あるか）	4			④効率性（効率的に実施できたか）	3			
	判断理由	参加73団体（4,108人）及び来館者14,310名（1日平均1,022名）があり多くの市民に親しまれている。出展、出演者は日頃の成果を発表でき好評で事業の達成度は高い。			判断理由	コストは前年とほとんど変わらず、内容や事業もほぼ同様だったので、効率的に実施できた。			
課題と今後の方向性	今後の方針性（以下より選択）		E	現状における課題 ○ 委託事業であるが、実施まで何度も協議があり、職員の役割が大きい。		平成25年度予算編成における具体的な取組 平成25年4月から9月まで市民会館・公民館大規模改修工事であるが例年通り市民文化祭を実施する。			
	A 成果拡大に向けて実施方法を見直し								
	B コスト改善に向けて実施方法を見直し								
	C 抜本的な見直し								
	D 縮小・廃止								
	E 現状を維持								